

現場説明書（技術的事項）

工事名称 福山市立東小学校南棟校舎外壁塗装改修工事

1 現場の状況

工事場所は、福山市東町三丁目 7 番 49 号に位置し、東側は福山市道北吉津御船線、南側は福山市道東町西深津幹線に接しています。

工事期間中、2025 年 7 月 19 日（土）から 8 月 24 日（日）は夏休み、2025 年 12 月 24 日（水）から 2026 年 1 月 6 日（火）は冬休みです。なお、土曜日、日曜日、祝日を含めて、児童が登校しない日も校舎、屋内運動場、グラウンド等は使用することができます。

2 別途工事

ありません

3 留意事項

- (1) 工事に当たっては、交通渋滞、騒音、粉塵、振動、汚染排水等により、近隣住民に迷惑のかからないよう十分配慮してください。
- (2) 工事期間中も学校施設を使用しているため、工事関係者はもとより、職員、児童及び第三者への安全確保に必要な対策を講じてください。
- (3) 工事車両等の進入・退出・停車等に当たっては十分な注意を払い、通行者等の安全を第一に図ってください。
- (4) 資材の搬入、搬出時にはシート等でカバーするなど、土砂・木片等が飛散しないよう注意するとともに、タイヤ等に付着した土砂によって道路汚損等のないように注意してください。
- (5) 道路等を汚損した場合は、速やかに清掃等の復旧を行い、工事期間中の進入、退出路に係る維持管理（舗装・構造物等の保護養生、補修等）は、受注者で行ってください。
- (6) 工事場所外においても、駐車違反、速度制限、積載制限等交通法規を遵守し、事故防止に万全を期してください。
- (7) 工事に係る留意事項は、協力業者、資材納入業者等にも指導を徹底してください。
- (8) 工事現場内の資機材の保管等については、受注者において十分な管理を行い、各工種・工程における廃材・ごみ等についても、受注者の責任において遅滞なく処理してください。
工事排水についても管理を徹底し、周辺排水路等に土砂等を流した場合は、速やかに清掃を行ってください。
- (9) 工事範囲内において工事用進入路確保のために行う鉄板敷き等の必要な措置は、受注者で行ってください。
また、仮囲い等については、設計図書等を基に確実に行い、工事途上で屋外工事等のために仮囲い等の移設又は一時撤去復旧が必要となった場合は、関連工事と十分な調整を行い、必要に応じて可動フェンス（H=1.8m）等により工事範囲の明示と安全の確保を行ってください。
- (10) 本工事場所の進入口及び通路は、施設使用に際し工事期間中も確保する必要があるため、各入口や通路の通行と安全の確保を行ってください。

- (11) 現場着手日及び工事関係車両の駐車場の計画は、あらかじめ施設管理者と協議の上、決定してください。
また、工事用車両は、通学時間帯を避けて出入りしてください。
- (12) 工事期間中であっても、室内換気や空調設備が使用できるように必要な対策を講じてください。
- (13) 夏休み期間中に予定する個人懇談会や登校日等の学校行事では、当日の作業内容について、あらかじめ施設管理者と協議が必要です。
- (14) 受注者は、地域行事の運営等を円滑に行えるよう、地域との調整に努めてください。
- (15) 8月25日（月）から2学期が開始するため、それまでに渡り廊下、1階玄関部分に係る工事は完了させ、使用可能な状態にしてください。
また、放課後児童クラブの児童利用経路等に支障がないよう、必要な対応をお願いします。
- (16) 学校運営等で校舎等の使用状況により、施工方法や内容に変更が生じる場合があります。
- (17) 工事着手後、速やかに外壁劣化数量調査を行い、調査報告書を提出の上、監督員の承諾を得て改修工事に着手してください。
- (18) 実施工程表は、契約後14日以内に提出し承諾を受けてください。また、施工関係書についても速やかに提出し、承諾を受けてください。
- (19) 工事により周囲の建物や工作物に汚損等が生じた場合は、監督員及び施設管理者に報告するとともに、受注者の責任で速やかに復旧してください。
- (20) はつり工事等施設使用に影響を及ぼす作業については、十分な騒音・粉塵対策を講じてください。
- (21) 特定建設資材は再資源化に努め、産業廃棄物は関係法令に従い適切に処理してください。
- (22) 工事施工に必要な官公署への手続は、受注者の責任において速やかに行い、手続を行った場合は、速やかに報告してください。
- (23) 受注者は、地元企業、地場製品の活用に努めてください。
- (24) 受注者は、各種工事の職種を問わず、積極的に「技能士」適用に努めてください。

福山市立東小学校南棟校舎外壁塗装改修工事

図面リスト	
図面番号	図名
1	図面リスト
2	外壁改修工事特記仕様書 №1-1
3	外壁改修工事特記仕様書 №1-2
4	外壁改修工事特記仕様書 №2
5	外壁改修工事特記仕様書 №3
6	仮設工事特記仕様書・付近見取図・配置図
7	1、2階平面図
8	R階平面図
9	立面図
10	矩計図・部分詳細図・F工法詳細図
11	渡り廊下 各図面
12	倉庫、危険貯蔵庫 各図面
13	受水槽ポンプ室 各図面

福山市建設局建築部営繕課					発注 2025年 4月
主務	課員	次長	課長補佐	営繕課長	建築部長

 福山市建設局建築部営繕課 <small>設計</small>	工事名称 福山市立東小学校南棟校舎外壁塗装改修工事		図面No
	2025年 4月	図面名 図面リスト	1 / 13

福山市外壁改修工事特記仕様書			特記事項			特記事項			特記事項																																																																																																									
章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																																							
I 工事概要			II 建築工事			III 施工			IV 計画																																																																																																									
1. 工事名称 福山市立東小学校南棟校舎外壁塗装改修工事	2. 工事場所 福山市東町三丁目7番49号	3. 構造規格 南棟校舎:RC造(鉛直延べ面積1,055m ²) 渡り廊下:S造(鉛直延べ面積41m ²)、倉庫:C造一部S造(鉛直延べ面積10m ²) 危険貯蔵庫:C造平家建(延べ面積5m ²)、受水槽部ワッジ室:RC造平家建(延べ面積18m ²)	4. 工事種目 外壁塗装改修 外壁劣化改修 防水改修	5. 別途工事 なし	※ 本工事の工期は工事検査期間としての14日を含んでいる。 ※契約締結後、4日以内に実施工程表を提出する。 ※本工事は、法定外の労災保険を見込んでいる。	6. 別途工事 なし	7. 施工中の安全確保 [1.3.7]	8. 緊急・振動の防止 [1.3.8]	9. 工事実績情報の登録 [1.1.4]	10. 施工数量調査 [1.6.2]	11. 別契約の関連工事との調整等 [1.1.7] [2.2.1]	12. 関連工事との調整 ※別契約の関連工事受注者が足場などを使用する場合は無償とする。 ※別契約の関連工事受注者と工事を含めた総合的な打合せを定期的に行い、監督員の調整に協力し、当該工事関係者とともに円滑な施工に努める。	13. 労働安全衛生法に基づく指名 ・本工事は、交通事故専員として人を見込んでいる。 交通説明員の配置については、実施伝票(原本)および配置状況のわかる立会い写真の撮影を行い、監督員に提出する。	14. 低騒音型・低振動型建設機械を使用し、環境対策に努める。	15. 着工・開工の確認 [1.1.5]	16. 施工開始の確認 [1.1.6]	17. 施工中の安全確保 [1.3.7]	18. 緊急・振動の防止 [1.3.8]	19. 工事実績情報の登録 [1.1.4]	20. 施工数量調査 [1.6.2]	21. 別契約の関連工事との調整等 [1.1.7] [2.2.1]	22. 関連工事との調整 ※受注者は、次回に従い、工事実績情報を登録する。 登録内容について、あらかじめ監督員の承諾を受けたのち、次回の期間内に登録申請を行う。 ただし、期間には、土曜日、日曜日、祝日、年末年始の閉店日を除く。	23. 調査範囲 ※外壁(庇、笠木) · 図示 調査方法 ※テントハンマーによる打診及び目視 · 図示 外壁調査は、外壁改修フローに応じる外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無について位置及び数量(幅、長さ、面積)の調査を行う。調査結果により、適切な工法を選定し報告すること。 また、その報告書は、結果を立面図に記載し集計表を添えて監督員に提出する。(必要に応じ真写を添付する)	24. 本工事は、インターネットを利用して、受発注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより、効率化を図る情報共有システムの対象工事である。 本工事で利用する情報共有システムは、「広島県工事中情報共有システム」とし、当該サービス提供者との契約は受注者が行い、利用料を支払うものとする。 運用に当たっては、「福山市立東小学校における情報共有システム利用実施要領(建築工事)及び「情報共有システム利用手引(建築工事)」によるものとする。	25. 発注者指定型 共通設置として情報共有システムの利用料を見込んでいる。 受注者は、本システムを利用できない特別の事由がある場合は、工事着手までに当該事由を記載した工事打合せ簿を監督員に提出し、その承諾を得ることで本システムを利用しないことができる。	26. ○印つかない場合は、※印のついたものを適用する。 ○印と◎印のついた場合は共に適用する。	27. (3) 特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、「改修標準仕様書」、〔 〕内表示番号は、「建築標準仕様書」、< >内表示番号は、「解体工事共通仕様書」、当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) 材料および製造所等の記載順序は異なる。	28. ① 適用基準等 ・公共住宅建設工事共通仕様書(令和元年度版) ○建築工事標準詳細図 ○建設工事公害防止対策要綱(建築工事編)建設経済局建設課業・住宅局建築指導課監修 ○建築工事安全施工技術指針 建設大臣官房官営施設部監修長連達 ○建築基準法、消防法、その他関係法令	29. ② 監理(主任)技術者 受注者は、監理技術者及び主任技術者を建設業法により定め、工事現場において工事名、工期、写真、所属会社名及び印のついた名前を用意する。	30. ③ 電気保安技術者 [1.3.3]	31. ④ 技能士 [1.7.2]	32. ⑤ 施工管理 [1.3.1] [1.5.1]	33. ⑥ 建築材料等 建築材料の製造所、製品及び施工業者などは、特記されたもの又は同等のものとする。ただし、同等とする場合は、監督員の承認を受ける。 また、(公)建設業協会が実施する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」によって所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写真を監督員に提出する。 国等による環境物品等の調達・推進等に関する法律(平成12年法律第100号)、「グリーン購入法」というにより、環境負荷を低減できる材料等を選定する場合を規定する。	34. ⑦ 特別な材料の工法 建築標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。	35. ⑧ 発生材の処理 [1.3.12]	36. ⑨ 工事及び完成写真 施工計画時 工事完了時 搬入 再生資源利用計画書 再生資源利用実施書 搬出 再生資源利用促進計画書 再生資源利用促進実施書	37. ⑩ 完成時の提出図書 [1.9.1~3]	38. ⑪ 別契約の関連工事との調整等 [1.1.7] [2.2.1]	39. ⑫ 施工中の安全確保 [1.3.7]	40. ⑬ 緊急・振動の防止 [1.3.8]	41. ⑭ 工事実績情報の登録 [1.1.4]	42. ⑮ 施工数量調査 [1.6.2]	43. ⑯ 情報共有システム 本工事は、インターネットを利用して、受発注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより、効率化を図る情報共有システムの対象工事である。 本工事で利用する情報共有システムは、「広島県工事中情報共有システム」とし、当該サービス提供者との契約は受注者が行い、利用料を支払うものとする。 運用に当たっては、「福山市立東小学校における情報共有システム利用実施要領(建築工事)及び「情報共有システム利用手引(建築工事)」によるものとする。	44. ⑰ 施工改修工事 (コンクリート打放し仕上げ外壁)	45. ⑱ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	46. ⑲ 外壁改修材料 [4.2.4] [4.3.5] [4.4.5] [4.5.2]	47. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	48. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	49. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	50. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	51. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	52. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	53. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	54. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	55. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	56. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	57. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	58. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	59. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	60. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	61. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	62. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	63. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	64. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	65. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	66. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	67. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	68. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	69. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	70. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	71. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	72. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	73. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	74. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	75. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	76. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	77. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	78. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	79. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	80. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	81. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	82. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	83. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	84. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	85. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	86. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	87. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	88. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	89. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	90. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	91. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	92. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	93. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	94. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	95. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	96. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	97. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	98. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	99. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	100. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	101. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	102. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	103. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	104. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	105. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	106. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	107. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	108. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	109. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	110. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	111. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	112. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	113. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。	114. ⑳ 保証書 ※4.2.4によるほか、監督員の承諾する材料 ※セメント混和用軽量発泡石膏を用いた

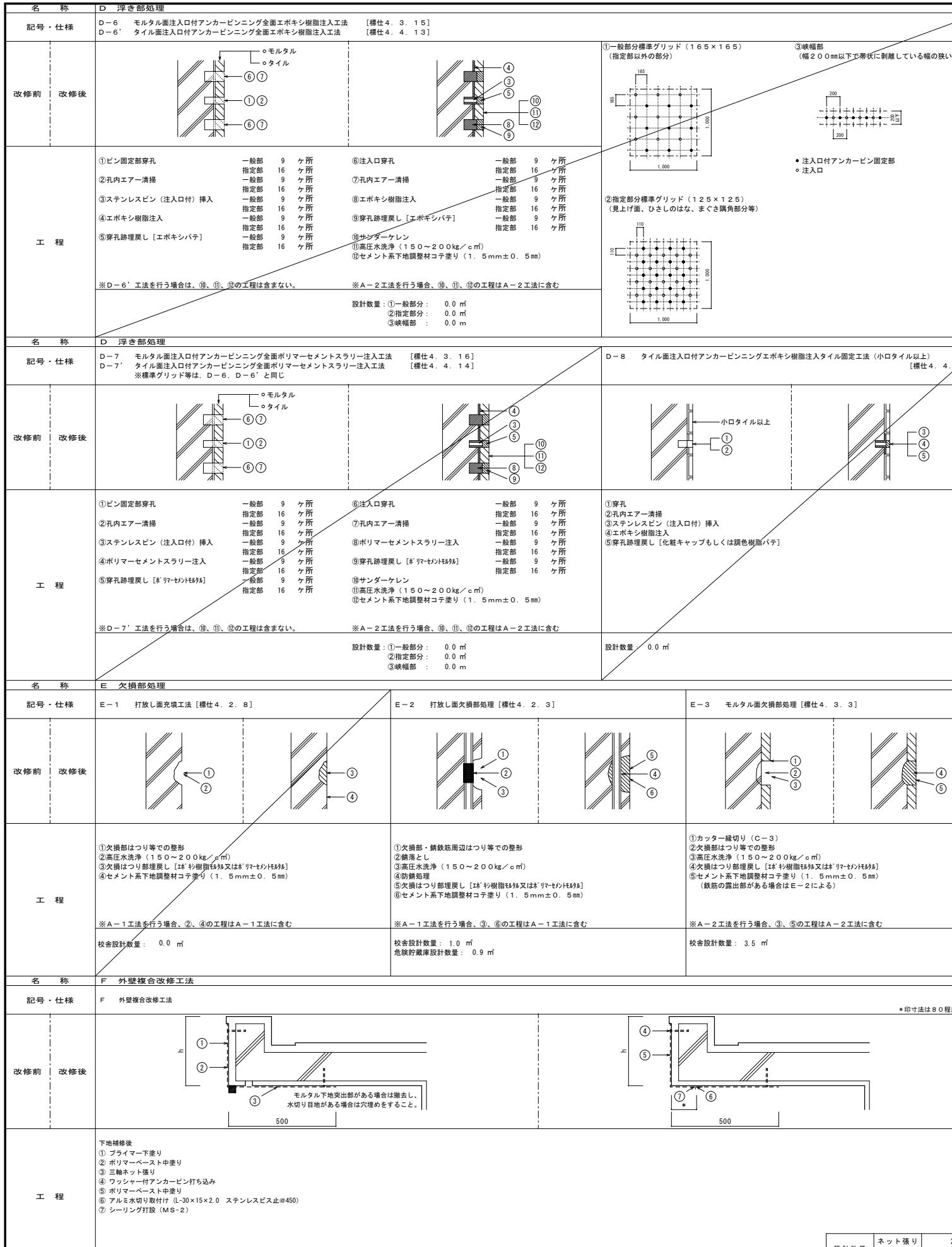
章	項目	特記事項	章	特記事項	章	特記事項	章	特記事項	章	特記事項	章	特記事項													
⑦ 石綿含有建材の除去及び処理	① 事前調査 <1.4.1>	目視及び設計図書等により、あらかじめ事前に次の事項について事前調査を行い、調査結果をとりまとめて監督員に提出するとともに、その申しを工事の現場に備え置く。また、関係法令等に基づき、官署へ報告を行う。 (1) 使用部位の確認 (2) 種別、厚さ等の確認 (3) 使用数量の確認 (4) 施工範囲と工事管理区分の確認 ・ 石綿含有分析検査 (※ 不要 ・ 必要 (内容は下記による)) ※ 分析方法 JIS A1481-1「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による定性分析 ※ 分析必要部屋名等 (※ 図示) (分析必要箇所 (箇所))	5 石綿含有保温材等の除去 <6.4.1~6.4.4>	⑥養生用のプラスチックシート等の廃棄物は、4~2) ⑤により処理等を行う。 ⑦後片付け終了後は、高性能真空掃除機で床等の清掃をする。 1) 処理を行う石綿含有保温材等の仕様及び部位 ・ 下記による ※ 図面による <table border="1"> <thead> <tr> <th>石綿含有保温材等の仕様</th> <th>使用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> 2) 養生等 ①石綿含有保温材等の除去に伴い、石綿の作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用いて隔離養生(負圧不要)を行う。 ②作業場の隔離 (・行う ※ 行わない) 石綿含有保温材等の除去にあたり、揚げ落し・破砕・切断による方法の場合は、作業場の隔離を行うこと。 3) 作業場の隔離を行う場合は、4~2) を適用する。 脱去工法 ※ 粉じん飛散抑制剤により湿潤化した後に手はらし ・ 石綿含有吹付け材の除去による 除去物の処理 (※ 密封処理 (二重袋梱包)) ・ 施工区画周辺又は敷地境界 (2点) 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等 4~4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等による。 5) 確認及び後片付け ①関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。 ②確認の後に、除去物に粉じん飛散防止処理剤等を散布する。 ③養生シート等の撤去にあたっては、シート等を十分に清掃する。また、石綿の付着が考えられる場合には、必要に応じて粉じん飛散抑制剤又は粉じん飛散処理剤を散布する。	石綿含有保温材等の仕様	使用部位	・	・	・	・	・	・	・	・											
石綿含有保温材等の仕様	使用部位																								
・	・																								
・	・																								
・	・																								
・	・																								
2 石綿粉じん濃度測定 <6.1.3>	石綿粉じん濃度測定を行い、記録し監督員に報告する。 ※ 測定方法は、公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)最新版による。 測定の取り方 (1) 処理作業前 ・ 处理作業室内 (・点) ・ 施工区画周辺又は敷地境界 (2点) (2) 処理作業中 ・ 处理作業室内 (・点) ※ セキュリティーゾーン入口 (・点) …空気の流れを確認 ※ 負圧・除じん装置の排出口 (・点) …除じん装置の性能確認 ・ 施工区画周辺又は敷地境界 (2点) (3) 処理作業後 (離隔シート撤去前) ※ 处理作業室内 (・点) ・ 施工区画周辺又は敷地境界 (2点)																								
3 除去工事共通事項 <6.2.1~6.2.9>	1) 専門工事業者 石綿含有吹付け材の除去を直接行なう専門工事業者については、工事に相応した技術を有することを証明する資料を監督員に提出すること。 2) 作業主者及び特別管理産業廃棄物管理責任者 ①石綿含有業主者技術講習会は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を修了した者のうちから、石綿作業主任者を選任し、管理せること。 ②排出事業者は、石綿含有吹付け材・石綿含有保温材等の除去工事では、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を選任し管理せること。 3) 除去作業者 石綿含有建材の除去に從事する作業者(以下「除去作業者」という。)は、石綿障害予防規則(平成17年厚生労働省令第21号、以下「石綿則」という。)に基づく特別の教育を受けた者とする。また、除去作業者は、一般健康診断、石綿健康診断、じん肺健康診断を受診した者とし、肺機能に異常がない者とする。 4) 施工計画書 施工工先立ち、処理工事に伴う石綿粉じんの飛散防止対策を盛り込んだ施工計画書を施工調査等の結果に基づき作成し、監督員の承諾を受けること。 5) 表示及び看板 ①関係者以外立入禁止、喫煙・飲食の禁止、石綿除去作業中等の表示を行う。 ②石綿の害性、取扱い等の注意事項、使用すべき保護具の掲示を行う。 ③「建築物等の解体等の作業に関するお知らせ(労働基準監督署への届出内容、粉じん飛散抑制措置、ばく露防止措置等)」を周辺住民の見やすい場所に掲示する。 6) 保護具・保護衣 ①作業者は、作業内容に応じた呼吸用保護具、保護めがねを使用するとともに粉じんが付着しないよう、腹内部分に侵入しない保護衣又は作業衣を着用する。 ②監督員の現場作業の立入確認のため、保護具、保護衣を一式現場に備える。 7) 官公署その他への手続き ①労働安全衛生法の吹付け石綿除去作業の工事計画届(労働基準監督署) ②「石綿則」第1条第1項の規定による作業届(労働基準監督署) ③大気汚染防止法の特定粉じん排出等事業実施届出(都道府県知事) ④その他、各自治体の条例又は要綱等により義務付けられている届出(特別管理産業廃棄物管理責任者設置報告書等) 8) 適用基準等 ※ 「建設・解体工事に伴うアスベスト廃棄物処理に関する技術指針・同解説」																								
4 石綿含有吹付け材の除去 <6.3.1~6.3.4>	1) 処理を行う石綿含有吹付け材の仕様及び部位 ※ 図面による ・ 下記による <table border="1"> <thead> <tr> <th>石綿含有吹付け材の仕様</th> <th>使用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> 2) 作業場の隔離、養生等 ①除去に伴い石綿の作業場から外部への飛散防止及び処理を行わない他の部位への汚染を防止するため、プラスチックシート等を用いて負圧隔離養生を行う。 ②隔離した作業場では、HEPAフィルターを備えた負圧除じん装置により、常時負圧を保つ。 ③隔離した作業場への出入りにより石綿粉じんの二次汚染を防止するため、前室、洗浄室及び更衣室の3室で構成するセキュリティーボーンを設置する。 ④洗浄室にはエアシャワー設備を設ける。 ⑤除害の処理 ※ 密封処理 (二重袋梱包) ・ セメント固化 3) 除去工法 ※ 図面による ・ 共通仕様書による 施工場所 () 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等 ①除去した石綿含有吹付け材等を搬出するまでの間、現場に保管する場合は、一定の保管場所を定め、シートで覆う等飛散防止措置を講ずる。また、石綿等の保管場所であることの表示を行う。 当該工事により発生する石綿を含む廃棄物は、下記の処分先を見込んでいる。 処分場所 () 連搬距離 () 受入条件 (※ 平日受入) ※ 埋立処分 (管轄型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) なお、工事発注時に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督員と協議すること。 ②石綿を廃棄物として排出した時は、その都度、排出先と処理先を監督員に報告するとともに、産業廃棄物管理票(ミニュフェスト)の写しを添付した廃棄物処理報告書を提出する。 5) 確認及び後片付け ①関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。 ②確認の後に、除去物に粉じん飛散防止処理剤等を散布する。 ③養生シートのプラスチックシートの搬出に先立ち、高性能真空掃除機で養生面、床等の清掃を行う。 ④養生用のプラスチックシートに付着した粉じんの再飛散を防止するために、シート全面に粉じん飛散抑制剤を散布する。 ⑤壁面等の養生用のプラスチックシートの搬出は、集じん・排気装置で十分に吸引・ろ過し、原則として、隔離した内部の空気中の石綿維密度を測定して、石綿等の粉じんが処理されたことを確認した後に行う。なお、シートは、取り外して粉じん付着面を内側にして折りたたみ、プラスチック袋に入れる。 ⑥養生を行っていない床、仮設材を清掃した後に解体搬出する。 ⑦床養生用のプラスチックシートは、粉じん付着面を内側にして折りたたみ、プラスチック袋に入れる。	石綿含有吹付け材の仕様	使用部位	・	・	・	・	・	・	・	・														
石綿含有吹付け材の仕様	使用部位																								
・	・																								
・	・																								
・	・																								
・	・																								
5 石綿含有成形板等の除去 <6.5.1~6.5.4>	1) 処理を行う石綿含有成形板等の仕様及び部位 ・ 下記による ※ 図面による <table border="1"> <thead> <tr> <th>石綿含有成形板等の仕様</th> <th>使用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> 2) 養生等 石綿含有成形板等の除去に伴い、石綿の作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用いて作業場所の周辺の養生を行う。 3) 養生工法 ①原則、手はらしで行う。やむを得ず切断、破壊等しなければならない場合は、常時湿潤化した状態で作業を行う。ただし、石綿を含有するけい酸カルシウム板第一種は、養生シート等で作業場所の隔離養生(負圧不要)を行う。 ②除去した石綿含有成形板等の梱積及び積込みに当たっては、高所より落下しないことの他、粉じんの飛散防止に努める。 ③被覆された石綿含有成形板等は、湿潤化のうえ、丈夫なプラスチック袋に入れる等飛散防止の措置を講ずる。 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等 ①処分は原則のまとし、処分先は監督員の指示による。 ・ 石綿含有成形板等の保管、運搬、処分等 ※ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 埋立処分 (安定型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設) なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督員と協議すること。 ②除去した石綿含有成形板等を現場に保管する場合は、一定の保管場所を定め、他の廃棄物と分別して保管するものとし、シートで覆う等飛散防止措置を講ずる。また、保管場所には、石綿等の保管場所であることの表示を行う。 ③石綿含有成形板等の運搬に当たっては、運搬車輛の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。 5) 確認及び後片付け ①関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。 ②養生シート等の撤去にあたっては、シート等を十分清掃する。	石綿含有成形板等の仕様	使用部位	・	・	・	・	・	・	・	・														
石綿含有成形板等の仕様	使用部位																								
・	・																								
・	・																								
・	・																								
・	・																								
6 石綿含有成形板等の除去 <6.5.5~6.5.8>	1) 処理を行う石綿含有成形板等の仕様及び部位 ・ 下記による ※ 図面による <table border="1"> <thead> <tr> <th>石綿含有成形板等の仕様</th> <th>使用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> 2) 養生等 石綿含有成形板等の除去に伴い、石綿の作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用いて作業場所の周辺の養生を行う。 3) 養生工法 ①原則、手はらしで行う。やむを得ず切断、破壊等しなければならない場合は、常時湿潤化した状態で作業を行う。ただし、石綿を含有するけい酸カルシウム板第一種は、養生シート等で作業場所の隔離養生(負圧不要)を行う。 ②除去した石綿含有成形板等の梱積及び積込みに当たっては、高所より落下しないことの他、粉じんの飛散防止に努める。 ③被覆された石綿含有成形板等は、湿潤化のうえ、丈夫なプラスチック袋に入れる等飛散防止の措置を講ずる。 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等 ①処分は原則のまとし、処分先は監督員の指示による。 ・ 石綿含有成形板等の保管、運搬、処分等 ※ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 埋立処分 (安定型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設) なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督員と協議すること。 ②除去した石綿含有成形板等を現場に保管する場合は、一定の保管場所を定め、他の廃棄物と分別して保管するものとし、シートで覆う等飛散防止措置を講ずる。また、保管場所には、石綿等の保管場所であることの表示を行う。 ③石綿含有成形板等の運搬に当たっては、運搬車輛の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。 5) 確認及び後片付け ①関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。 ②養生シート等の撤去にあたっては、シート等を十分清掃する。	石綿含有成形板等の仕様	使用部位	・	・	・	・	・	・	・	・														
石綿含有成形板等の仕様	使用部位																								
・	・																								
・	・																								
・	・																								
・	・																								
7 石綿含有仕上塗材(下地調整塗材含む)の除去	1) 処理を行う石綿含有仕上塗材(下地調整塗材含む)の仕様及び部位 ・ 下記による ※ 図面による <table border="1"> <thead> <tr> <th>石綿含有仕上塗材の仕様</th> <th>使用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> 2) 養生等 電気グラインダー等の電動工具により除去を行う場合は、石綿の作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用いて隔離養生(負圧不要)を行う。 3) 除害工法 (施工場所 : ※ 図示) ①石綿含有仕上塗材の除去は、高圧水洗工法や剥離剤を用いる工法等により、湿潤化した状態で行う。 ②電気グラインダー等の電動工具により除去を行う場合は、除去する石綿含有仕上塗材を常時湿潤化した状態で作業を行う。なお、湿潤化が著しく困難な場合は、粉じん性能を有する電動工具を使用するなど粉じんの飛散を防止する。 ③除去した石綿含有仕上塗材の廃棄物は、耐水性のプラスチック袋等により二重でこん包する。 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等 ⑥ 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等による。 処分先については、監督員の指示による。 ・ 埋立処分 (・ 安定型最終処分場) ・ 管理型最終処分場 ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督員と協議すること。 5) 確認及び後片付け ①関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。 ②養生シート等の撤去にあたっては、シート等を十分清掃する。	石綿含有仕上塗材の仕様	使用部位	・	・	・	・	・	・	・	・														
石綿含有仕上塗材の仕様	使用部位																								
・	・																								
・	・																								
・	・																								
・	・																								



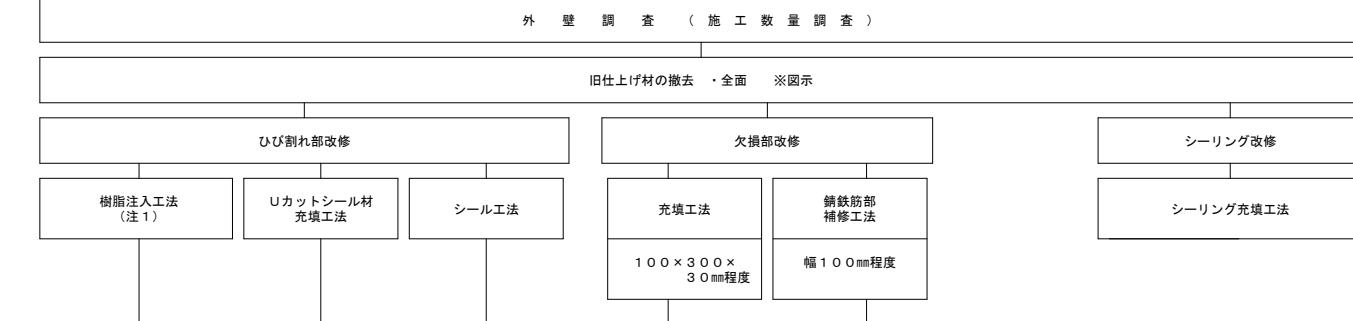
福山市建設局建築部營繕課
設計
2025年 4月

工事名称
福山市立東小学校南棟校舎外壁塗装改修工事
図面名
外壁改修工事特記仕様書 No.1-2

名 称		A 表面劣化部処理		B ひび割れ部処理		C 鋼鉄筋部処理		D 浮き部処理	
記号・仕様	A-1 打放し面表面劣化部処理 [サンダー工法]	A-2 モルタル面表面劣化部処理 [サンダー工法]	B-1 打放し面樹脂注入工法 [標仕4. 2. 5] ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm	B-2 打放し面Uカットシール材充てん工法 [標仕4. 2. 6] ひび割れ幅 1. 0mm超	B-3 打放し面Uカットシール材充てん工法 [標仕4. 2. 6] ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm	B-4 モルタル面樹脂注入工法 [標仕4. 3. 6] ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm	B-5 モルタル面板部樹脂注入工法 [標仕4. 3. 6] ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm		
改修前	改修後								
工 程		<p>①既存仕上げ材及び脆弱サンダーケレン（・全面 *部分） ②高圧水洗浄（150～200kg/cm²） ③セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm）</p>	<p>①既存仕上げ材及び脆弱サンダーケレン（・全面 *部分） ②高圧水洗浄（150～200kg/cm²） ③セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm）</p>	<p>①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm）</p>	<p>①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄（150～200kg/cm²） ③可とう性エポキシ樹脂充てん後けい砂 ④Uカット部埋戻し（ポリマーセメントモルタル） ⑤セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm）</p>	<p>①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄（150～200kg/cm²） ③可とう性エポキシ樹脂充てん後けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm）</p>	<p>①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm） ⑤埋戻し ⑥セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm）</p>	<p>①ひび割れ周囲モルタルカッター切り ②モルタル除去 ③ひび割れ部シール ④エポキシ樹脂注入 ⑤埋戻し ⑥セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm）</p>	
		校舎設計数量： 10.7m ²	校舎設計数量： 39.9 m ² 受水槽ポンプ室設計数量： 2 m ²	設計数量：ひび割れ幅 0. 2~0. 5mm (0.0)m ()内は挙動ひび割れ数量を示す	校舎設計数量： 14.2 m ² 倉庫設計数量： 4.2 m ² 危険貯蔵庫設計数量： 1.8 m ²	設計数量： 0.0 m	設計数量：ひび割れ幅 0. 2~0. 5mm (0.0)m ()内は挙動ひび割れ数量を示す	設計数量： 0.0 m	
名 称	B ひび割れ部処理		C 鋼鉄筋部処理		D 浮き部処理				
記号・仕様	B-6 モルタル面Uカットシール材充てん工法 ひび割れ幅 1. 0mm超	B-7 モルタル面Uカットエポキシ樹脂充てん工法 ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm	C-1 打放し面鋼鉄筋部処理	C-2 モルタル面鋼鉄筋部処理	D-1 モルタル面はつり	D-2 モルタル面はつり			
改修前	改修後								
工 程		<p>①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄（150～200kg/cm²） ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し（ポリマーセメントモルタル） ⑤セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm）</p>	<p>①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄（150～200kg/cm²） ③可とう性エポキシ樹脂充てん後けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm）</p>	<p>①鋼鉄筋周囲のはつり ②鋼筋とし ③高圧水洗浄（150～200kg/cm²） ④防錆処理 ⑤はつり部埋戻し整形 ⑥セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm）</p>	<p>①カッター緑切り（C-3） ②浮き部はつり ③高圧水洗浄（150～200kg/cm²） ④はつり部埋戻し整形 ⑤セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm）</p>	<p>①カッター緑切り（C-3） ②浮き部はつり ③高圧水洗浄（150～200kg/cm²） ④はつり部埋戻し整形 ⑤セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm）</p>	<p>※A-2工法を行う場合は、②、⑤の工程はA-2工法に含む。</p>	<p>※A-2工法を行う場合は、②、④の工程はA-2工法に含む。</p>	
		校舎設計数量： 51.1 m ² 受水槽ポンプ室設計数量： 2.6 m ²	校舎設計数量： 0.0 m	校舎設計数量： 11.8 m ²	校舎設計数量： 43.9 m ²	校舎設計数量： 2.8 m ²			
名 称	D 浮き部処理		E アンカービン固定部		F 峠部				
記号・仕様	D-2 モルタル面アンカービンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 11] D-2' タイル面アンカービンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 9]				D-3 モルタル面アンカービンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 12] D-3' タイル面アンカービンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 10]				
改修前	改修後			<p>①一般部分標準グリッド (250×250) (指定部以外の部分)</p> <p>③狭幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所)</p> <p>● アンカービン固定部</p>	<p>①一般部分標準グリッド (200×200) (指定部以外の部分)</p> <p>③狭幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所)</p> <p>● アンカービン固定部</p>	<p>①一般部分標準グリッド (200×200) (指定部以外の部分)</p> <p>③狭幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所)</p> <p>● アンカービン固定部</p>	<p>①一般部分標準グリッド (200×200) (指定部以外の部分)</p> <p>③狭幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所)</p> <p>● アンカービン固定部</p>		
工 程		<p>①穿孔 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ②孔内エアー清掃 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ③エポキシ樹脂注入 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ④ステンレスピン挿入 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。 ※D-2'工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程は含まれない。</p>	<p>⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ⑥サンダーケレン ⑦高圧水洗浄 (150～200kg/cm²) ⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)</p>	<p>②指定部分標準グリッド (200×200) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等)</p> <p>● アンカービン固定部</p>	<p>①ビン固定部穿孔 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ②孔内I7-清掃 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ③エポキシ樹脂注入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ④ステンレスピン挿入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</p>	<p>⑥注入口穿孔 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑦孔内エアー清掃 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑧エポキシ樹脂注入 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</p>	<p>⑩サンダーケレン ⑪高圧水洗浄 (150～200kg/cm²) ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)</p>	<p>※D-3'工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含まない。</p>	<p>※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。</p>
		校舎設計数量：①一般部分：【ひけ面】 57.6 m ² 【タケ面】 4.4 m ² ②指定部分：【ひけ面】 11.8 m ² 【タケ面】 0.9 m ² ③峠部：【ひけ面】 41.9 m ² 【タケ面】 3.2 m ²			校舎設計数量：①一般部分： 0.0 m ² ②指定部分： 0.0 m ² ③峠部： 0.0 m ²				
名 称	D 浮き部処理		E アンカービン固定部		F 峠部				
記号・仕様	D-4 モルタル面アンカービンニング全面ポリマーセメントストライー注入工法 [標仕4. 3. 13] D-4' タイル面アンカービンニング全面ポリマーセメントストライー注入工法 [標仕4. 4. 11]				D-5 モルタル面注入付アンカービンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 14] D-5' タイル面注入付アンカービンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 12]				
改修前	改修後			<p>①一般部分標準グリッド (200×200) (指定部以外の部分)</p> <p>③峠部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所)</p> <p>● アンカービン固定部</p>	<p>①一般部分標準グリッド (200×200) (指定部以外の部分)</p> <p>③峠部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所)</p> <p>● 注入口付アンカービン固定部</p>	<p>①一般部分標準グリッド (330×330) (指定部以外の部分)</p> <p>③峠部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所)</p> <p>● 注入口付アンカービン固定部</p>	<p>①一般部分標準グリッド (250×250) (指定部以外の部分)</p> <p>③峠部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所)</p> <p>● 注入口付アンカービン固定部</p>		
工 程		<p>①ビン固定部穿孔 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ②孔内エアー清掃 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ③ポリマーセメントストライー注入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ④ステンレスピン挿入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑥サンダーケレン ⑦高圧水洗浄 (150～200kg/cm²) ⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)</p>	<p>⑥注入口穿孔 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑦孔内エアー清掃 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑧エポキシ樹脂注入 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</p>	<p>①穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ②孔内エアー清掃 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ③ステンレスピン (注入口付) 挿入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ④エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p>	<p>⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑥サンダーケレン ⑦高圧水洗浄 (150～200kg/cm²) ⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)</p>	<p>※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。 ※D-5'工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程は含まれない。</p>	<p>設計数量：①一般部分： 0.0 m² ②指定部分： 0.0 m² ③峠部： 0.0 m²</p>	<p>工事名称 福山市立東小学校南棟校舎外壁塗装改修工事 設計 2025年 4月 図面名 外壁改修工事特記仕様書 No.2</p>	

**外壁改修フロー図**

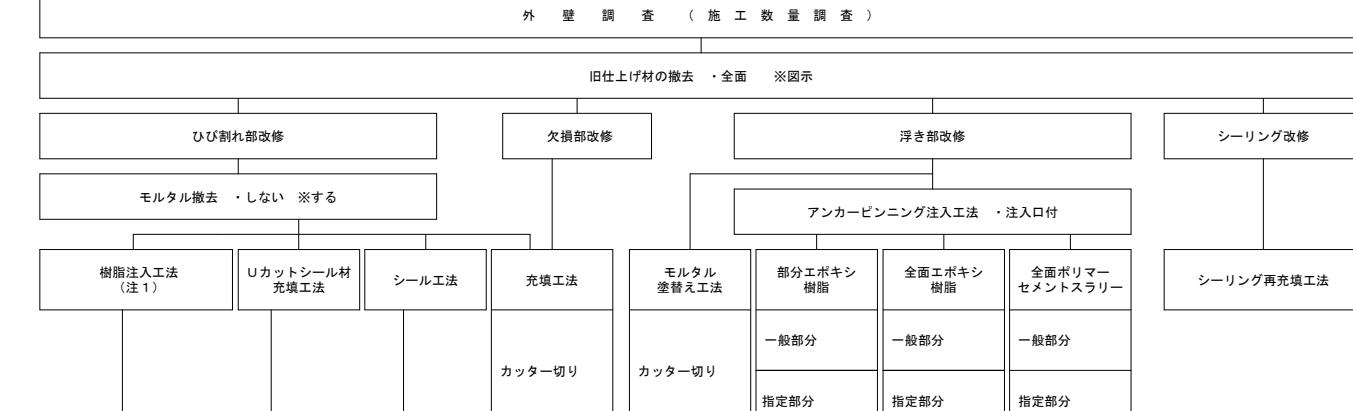
・コンクリート打放し仕上げ外壁の場合



下地調整材・全面※図示

仕上塗材仕上げ・全面※図示

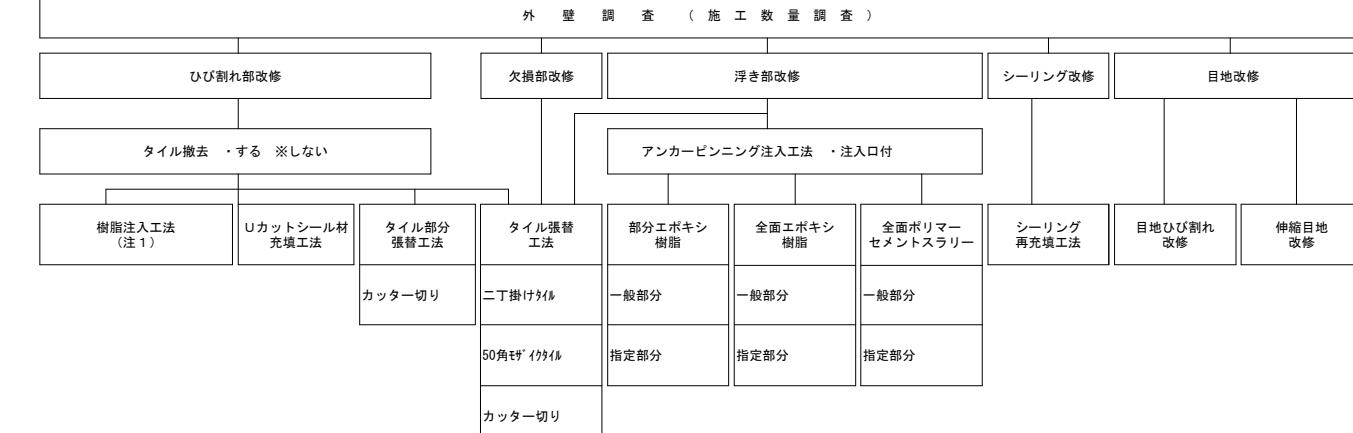
・モルタル塗り仕上げ外壁の場合



下地調整材・全面※図示

仕上塗材仕上げ・全面※図示

・タイル張り仕上げ外壁の場合

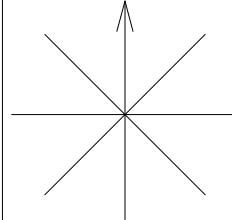


(注1)樹脂注入工法の工法の種類を示す

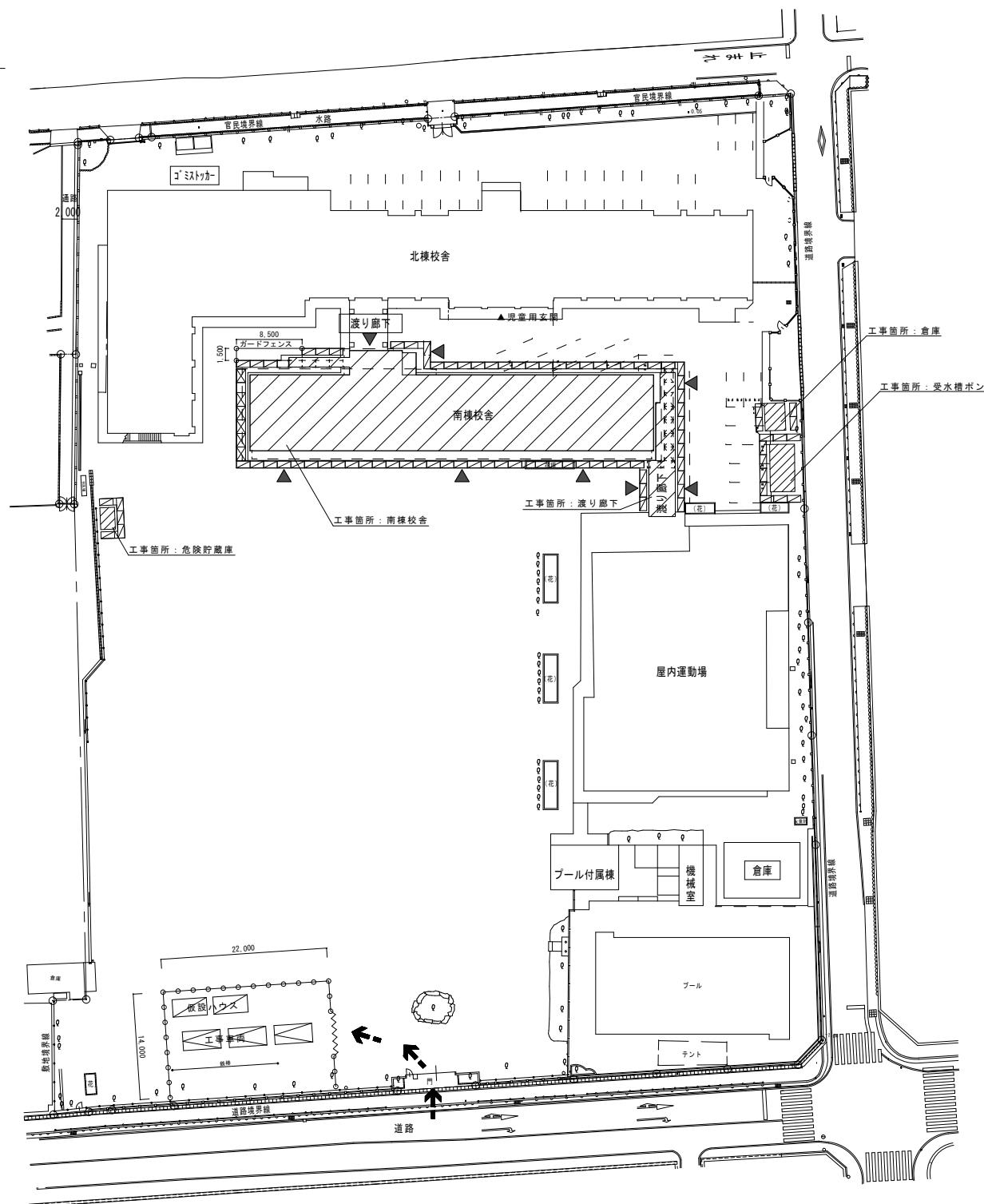
図面No	工事名	設計	図面名
	福山市立東小学校南棟校舎外壁塗装改修工事	2025年 4月	外壁改修工事特記仕様書 No.3
			5 / 13

方 位

NORTH



(北に矢印を付す)



付近見取図 S=No Scale

仮設工事特記仕様書

- ① 工事車両出入り口・機器・資材搬入口は南出入口とする。
- ② 工事車両出入口：キャスターーゲート程度とし、通行時ののみ開放する。
- ③ 施工者が必要と判断した場合には出入り口前に鉄板・合板パネル等を敷いて養生する。
- ④ 改修建物の周囲にある雨水排水施設を壊さないように注意する。
(既設建物を傷めた場合には復旧する。)
- ⑤ 児童の移動が集中する時間帯（登下校時等）は重機、資材の搬入を避ける。
- ⑥ 車両通行部は地均し復旧を行う。
- ⑦ 配置図に記載された仮設等については、発注者の考え方を示したものであって、実際の施工に於いては事前に詳細な調査・検討を行い、より安全な施工に努める。
- ⑧ 仮設計画をたてる前に、学校関係者及び監督員と十分協議する。
- ⑨ 仮設計画は監督員の承諾を得る。
- ⑩ 仮設足場（先行足場、階段共）には、養生シートを張り埃等の飛散を防ぐこと。
- ⑪ 児童及び第三者が、工事エリアに入れないように、1段目には金網等を設置し、施錠付きの出入り口を設けること。
- ⑫ 昇降所等の建物出入り口には、落下防止対策を講ずること。
- ⑬ 足場解体後は、現状復旧すること。
- ⑭ エアコンは、使用できるように室外機を養生すること。
- ⑮ 外部の水洗い時及び塗料等の臭気を伴う作業の際は、開口部を十分に目張りすること。

（参考）仮設工事凡例

記号	内 容
▨	改修建物
○—○	仮囲い：成形鋼板 H=2000
△△△	キャスターーゲート W=6000 H=1800
←	工事車両進入路
□	仮設足場
▲	児童・生徒出入口（足場部出入口養生）

※現場事務所等は、学校と協議の上決定する。

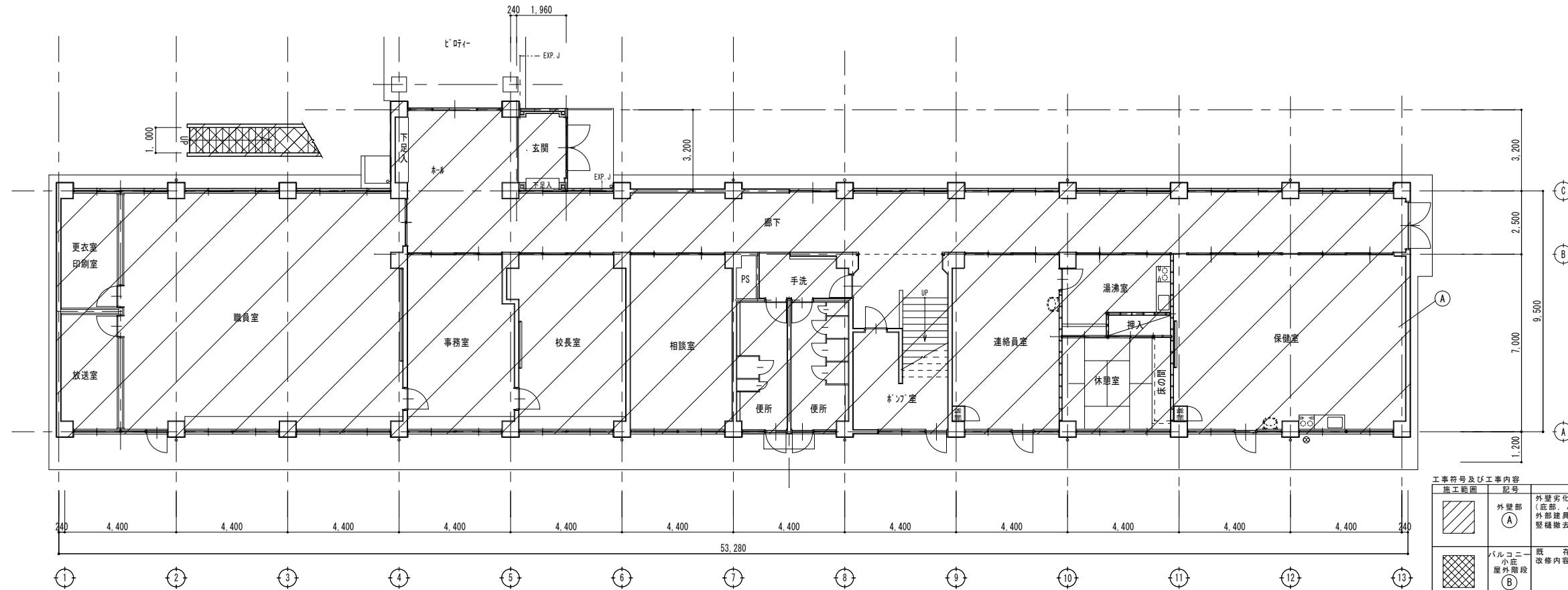
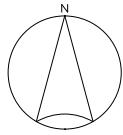
X1 100%

A3 50%

図面No.

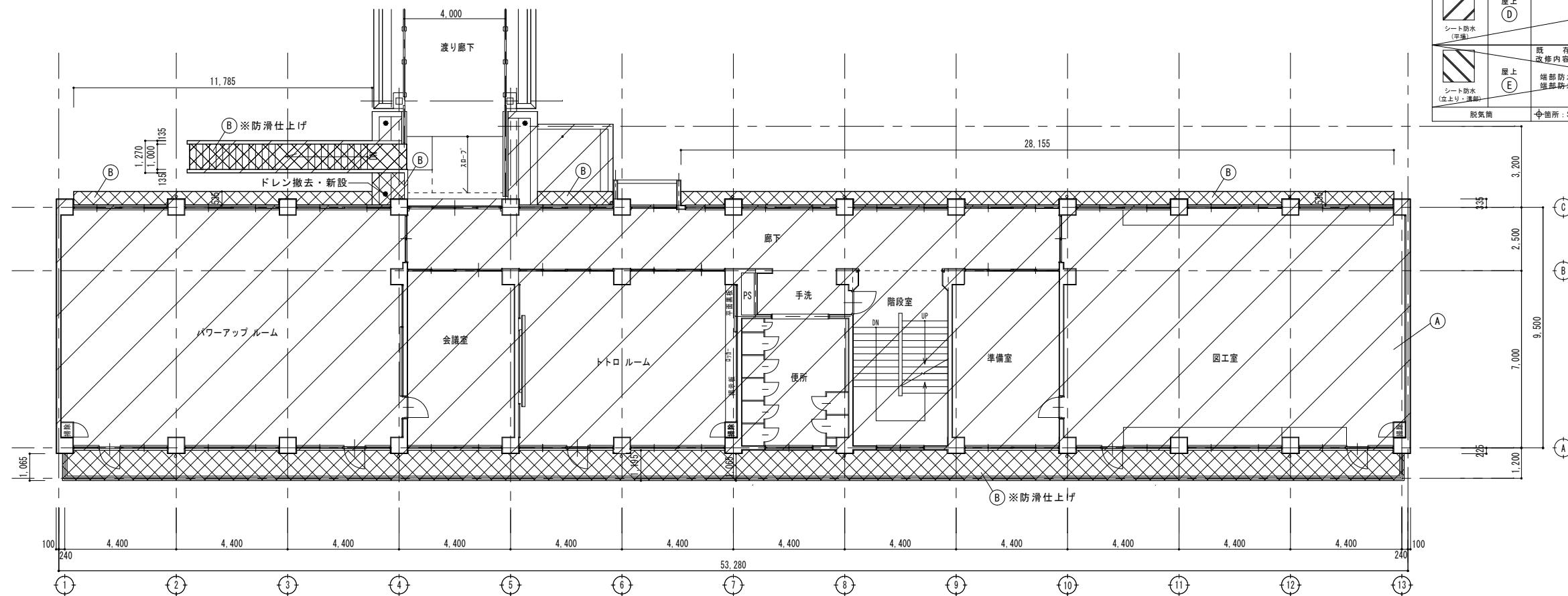
6

13



1階平面図 S=1/100

工事符号及び工事内容		改修内容
外壁部	(A)	既存: 外壁変化改修の上、複層塗材E塗り(軒裏等外装薄塗材E吹付) 改修内容: 外壁部、バルコニー一部含む (底部、バルコニー部含む) 外部建具 变成シリコン系シーリング(MS-2)打替 堅縫撤去(金具共)の上、堅縫取付カラーベンチレーティングVP75φ(SUS金具共)
バルコニー 小屋 屋外階段	(B)	既存: 防水モルタルコテ押え 改修内容: 水洗い、タック処理、下地調整(目地埋め含む)の上 ウレタンゴム系塗膜防水(X-2工法)
耐震壁	(C)	既存: 耐震CON壁 外装薄塗材E吹付 改修内容: 耐震CON壁 下地調整の上、複層塗材E塗り(トップ2回塗り) 堅縫取付下地調整の上、DP塗装(トップ2回塗り)
シート防水 (平場)	(D)	既存: シート防水 改修内容: 高圧水洗浄、合成高分子ルーフィングシート張り (塗化ビニル樹脂系t=1.5 S-M2機械的固定工法)
シート防水 (屋上)	(E)	既存: シート防水 改修内容: 水洗い、合成高分子ルーフィングシート張り 端部防水押さえ: 端部アルミ押さえ45×45取付(シーリング仕舞) 端部防水押さえ: 端部アルミ押さえ45×45取付(シーリング仕舞) (既存シート防水部分は撤去)
脱気筒		※箇所: SUS脱気筒取付



2階平面図 S=1/100

X1 100%

A3 50%

福山市建設局建築部営繕課

段計 2025年 4月

工事名称 福山市立東小学校南棟校舎外壁塗装改修工事

図面名稱 1階平面図、2階平面図

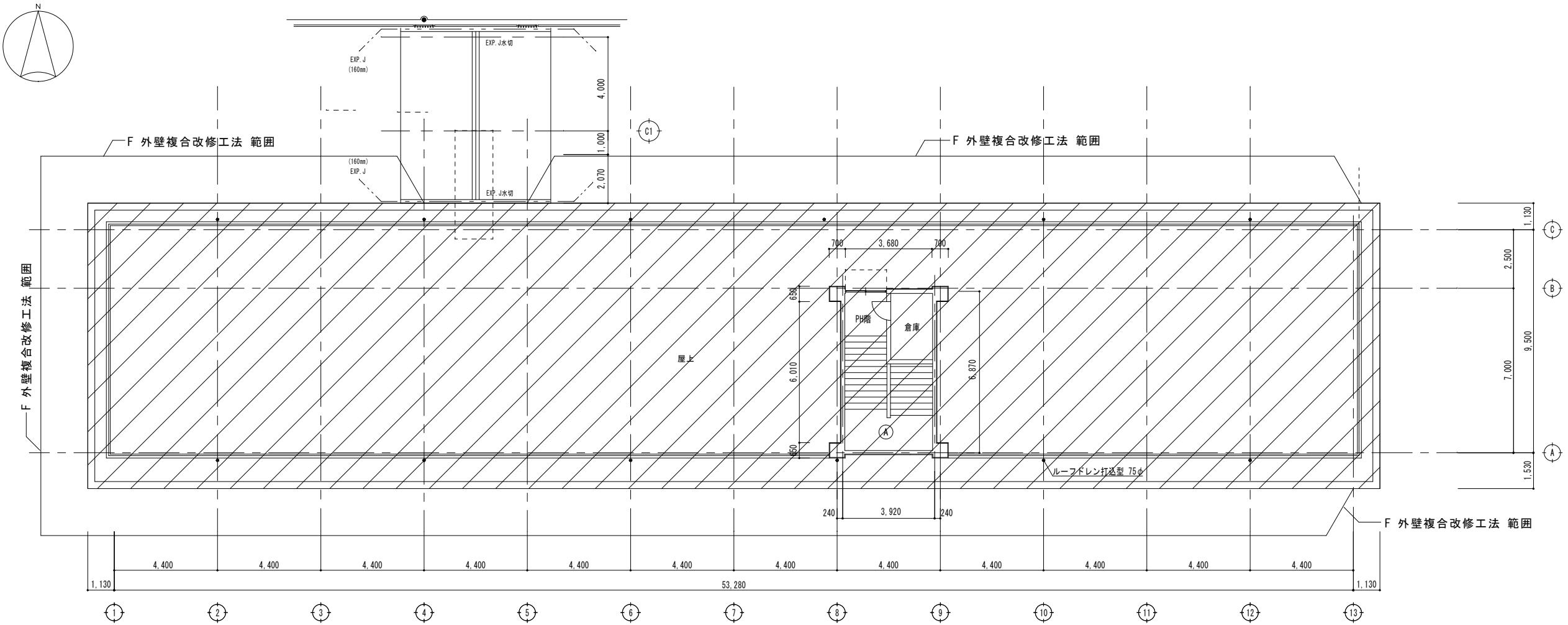
図面No.

縮尺 S=1/100

7 / 13

工事符号及び工事内容	施工範囲	記号	改修内容
	外壁部	(A)	既存 : 防水モルタルコテ押え 改修内容 : 外装薄塗材E塗り(軒裏等 外装薄塗材E吹付) (底部、バルコニー部含む) 外部建具 变成シリーン系シーリング(MS-2)打替 堅縫撤去(金具共)の上、堅縫取付カラーベンツφ(SUS金具共)
	バルコニー 小庇 屋外階段	(B)	既存 : 防水モルタルコテ押え 改修内容 : 水洗い、クラック処理、下地調整(日地埋め含む) ウレタン塗膜防水(X-TRATE)
	耐震壁	(C)	既存 : 耐震CON壁 外装薄塗材E吹付 改修内容 : 耐震CON壁 下地調整の土、複層塗材E塗り(トップ2回塗り) 耐震鉄部 下地調整の上、DP塗装(トップ2回塗り)
	屋上	(D)	既存 : シート防水 改修内容 : 高圧水洗浄、合成高分子ルーフィングシート張り (塩化ビニル樹脂系t=1.5 S-M2機械的固定工法)
	屋上	(E)	既存 : シート防水 改修内容 : 水洗い、合成高分子ルーフィングシート張り (塩化ビニル樹脂系t=2.0 S-M2接着工法) 端部防水押え : 篦木部アルミアンダル45×65取付(シーリング仕舞) 端部防水押え : 立上り部アルミ押え45×65取付(シーリング仕舞) (既存シート防水部分は撤去)
	脱気筒		油所 : SUS脱気筒取付

1,000 4,400 1,000

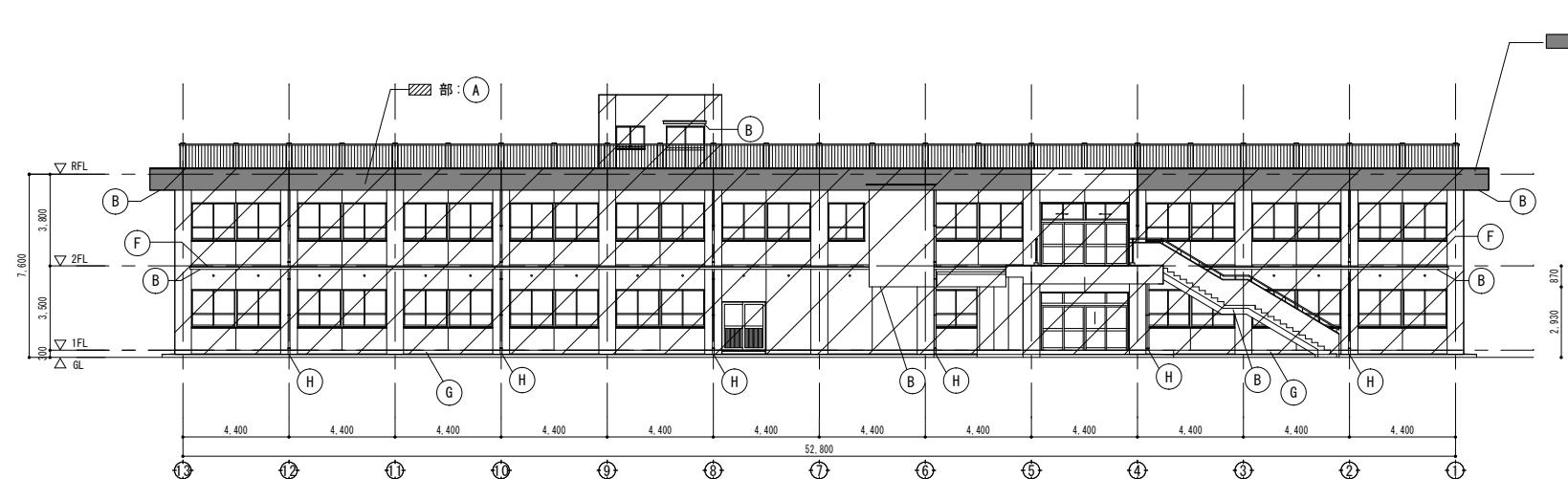


R階平面図 S=1/100

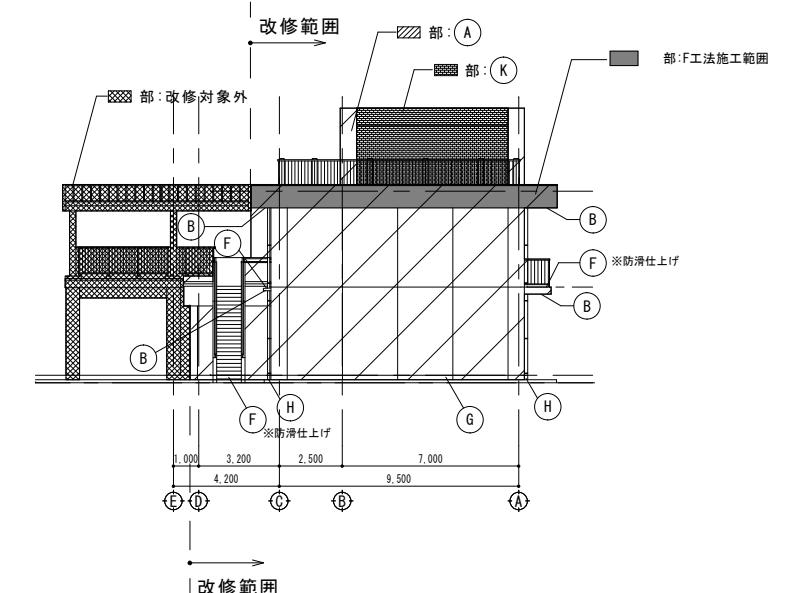
X1 100%

A3 50%

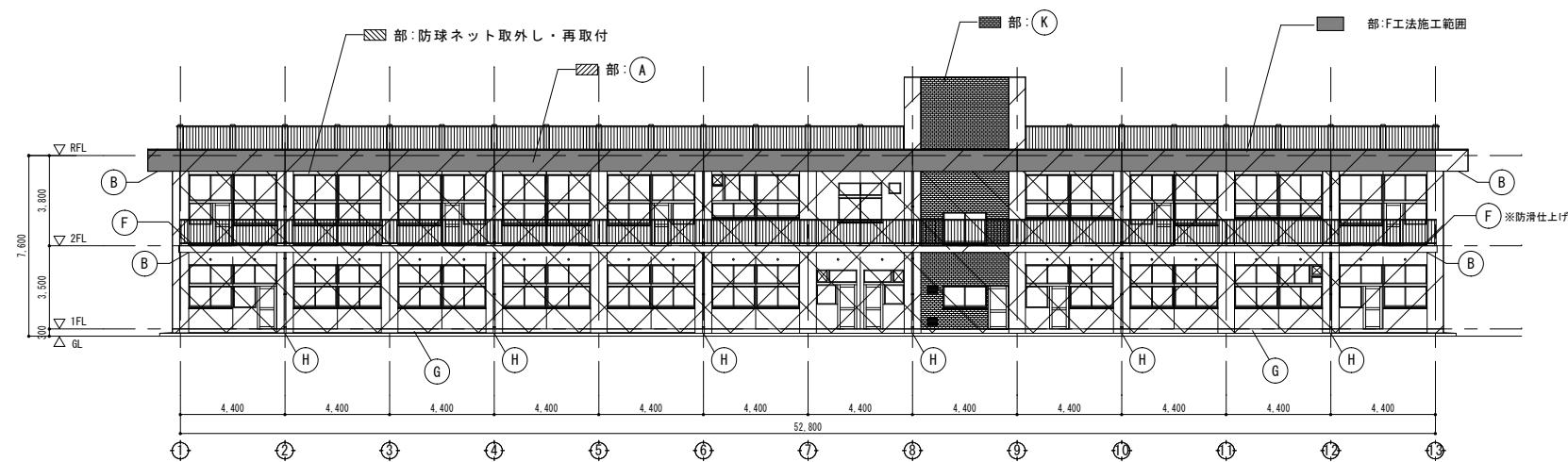
福山市建設局建築部営繕課		工事名	福山市立東小学校南棟校舎外壁塗装改修工事	図面No
設計	2025年 4月	図面名	R階平面図	縮尺 S=1/200
				8 / 13



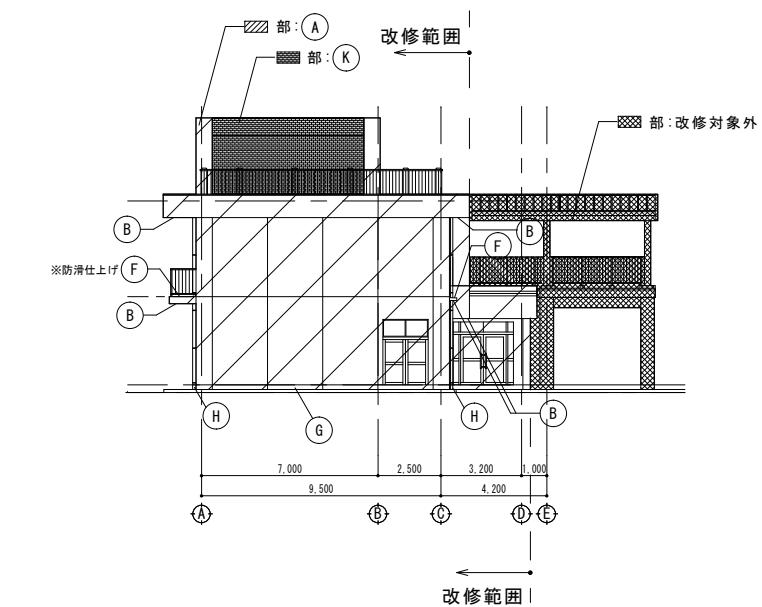
北側立面図 S=1/150



西側立面図 S=1/150



南側立面図 S=1/150



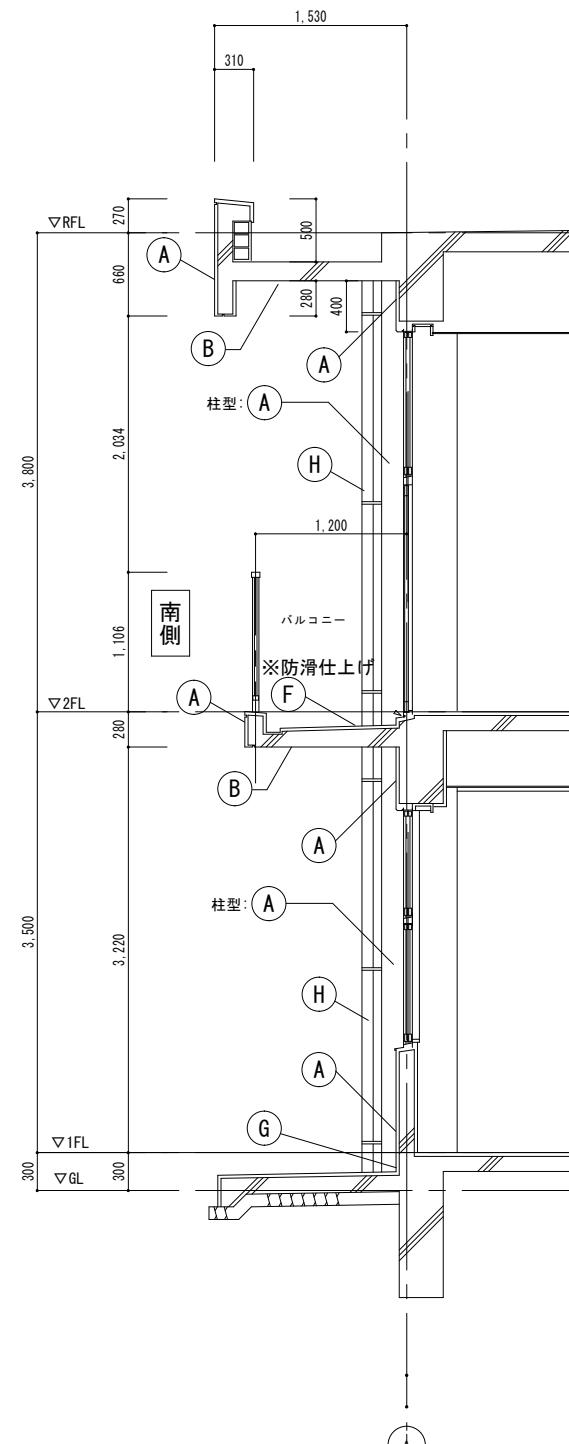
東側立面図 S=1/150

符号	仕上げ	符号	仕上げ
(A)	既存 外壁:モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付	(F)	既存 防水まろり塗り
	改修 水洗い、劣化改修、下地調整の上 模層塗材Eローラー塗り		改修 水洗い、下地調整の上 クレタゴム系塗膜防水(X-2)
(B)	既存 軒裏:コンクリート打放し アクリルリシン吹付	(G)	既存 巾木:モルタル金コテ押え
	改修 水洗い、劣化改修、下地調整の上 外装薄塗材吹付		改修 既存のまま
(C)	既存 耐震CON壁:外装薄塗材E吹付	(H)	既存 縦縫:VP φ75
	耐震CON壁:DP塗装		改修 撤去の上 カラー-VP φ75取付(SUS組み金物共)
	耐震CON壁:干地調整の上、模層塗材E塗り(トップ2回塗り)		
	耐震鉄部:下地調整の上、DP塗装(トップ2回塗り)	(I)	既存 シート防水(溝部)
(D)	既存 外壁石綿合有部 アクリルリシン吹付		改修 撤去、下地調整の上 シート防水(S-F2)
	外壁:水洗い、劣化改修、下地調整(C-2)の上、模層塗材Eローラー塗り		既存 シート防水(平場)
	軒裏:水洗い、劣化改修、下地調整(C-2)の上、外装薄塗材吹付	(J)	改修 清掃、損傷・ほくり・浮き部補修の上、シート防水(S-M2)
(E)	既存 鉄部:塗装仕上げ		既存 小口平タイル(108×50)
	改修 下地調整の上、耐候性塗料(DP)塗り	(K)	改修 既存タイル浮き部改修 アンカービニング部分エポキシ樹脂注入

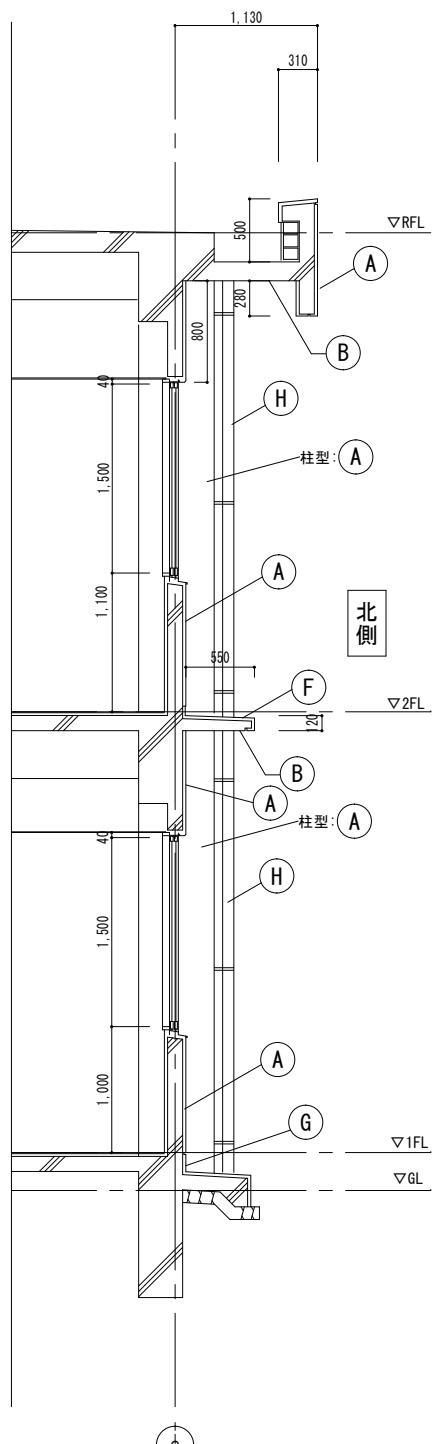
共通事項
 外装薄塗材E:水洗い(15MPa程度)、劣化部改修・下地調整(C-1)
 模層塗材Eローラー塗り:水洗い(15MPa程度)、劣化部改修・下地調整(C-1)
 外部建具:変成シリコーン系シーリング(MS-2)打替

X1 100%

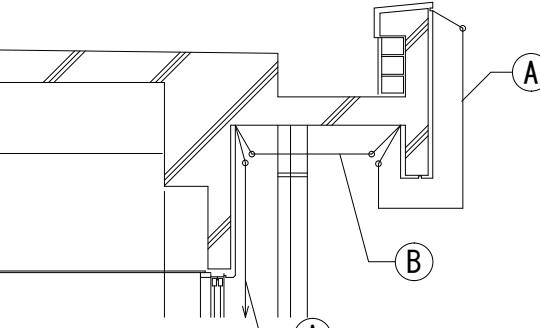
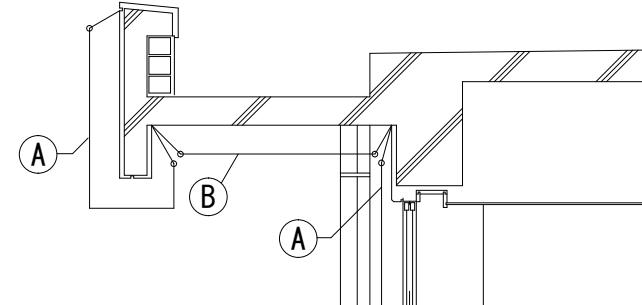
A3 50%



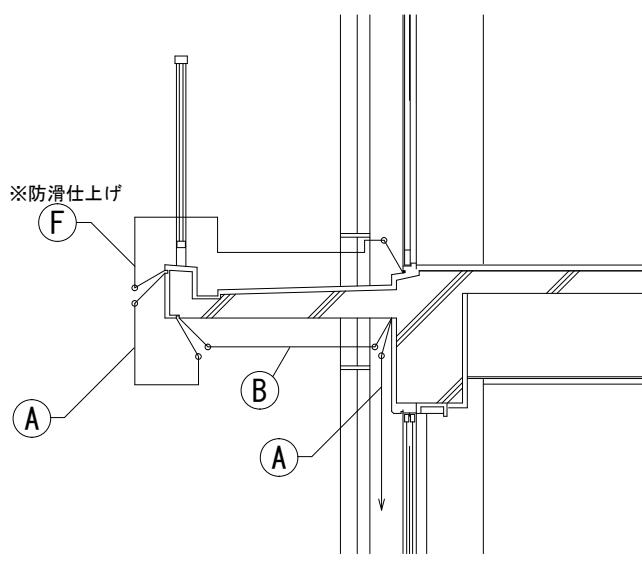
矩計図 S=1/30



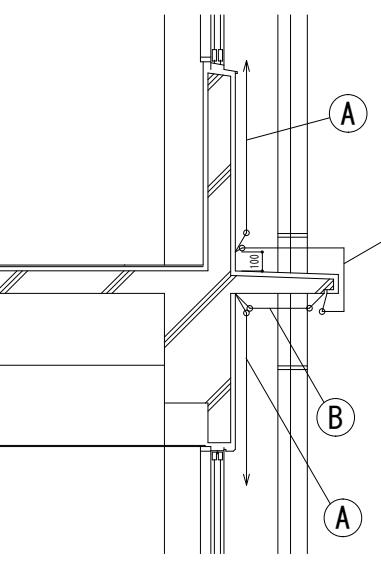
南側大庇詳細図 S=1/20



北側大庇詳細図 S=1/20

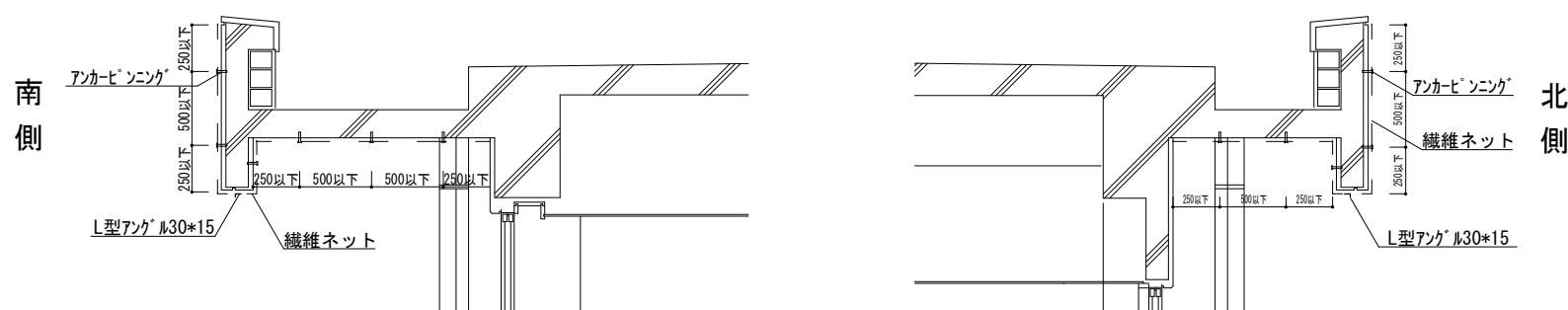


南側小庇詳細図 S=1/20



北側小庇詳細図 S=1/20

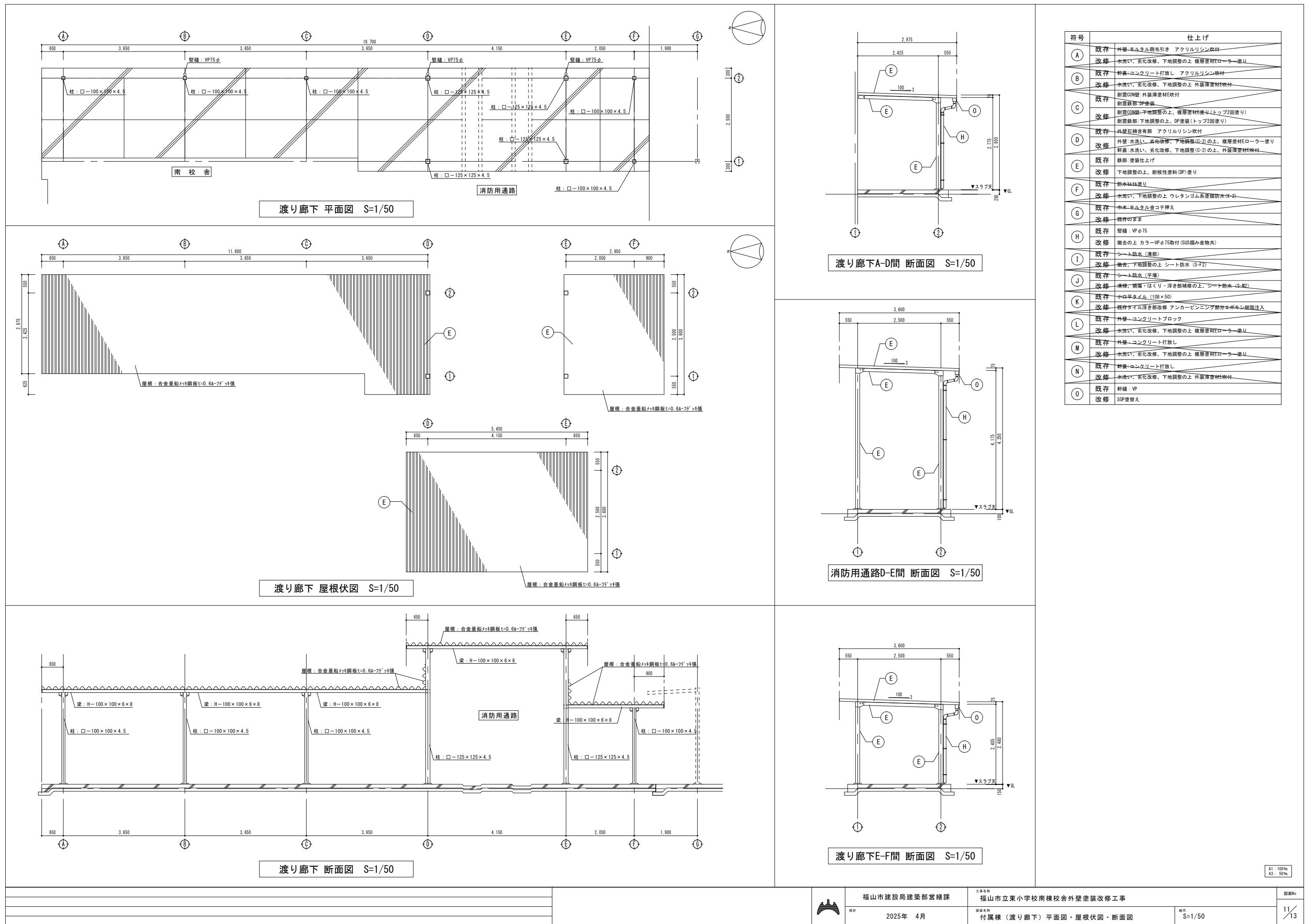
符号	仕上げ	符号	仕上げ
(A)	既存 外壁:モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付	(F)	既存 防水モルタル塗り
	改修 水洗い、劣化改修、下地調整の上 複層塗材Eローラー塗り		改修 水洗い、下地調整の上 ウレタンゴム系塗膜防水(X-2)
(B)	既存 軒裏:コンクリート打放し アクリルリシン吹付	(G)	既存 巾木:モルタル金コテ押え
	改修 水洗い、劣化改修、下地調整の上 外装薄塗材E吹付		改修 既存のまま
(C)	既存 耐震CON壁:外装薄塗材E吹付 耐震鉄部:DP塗装	(H)	既存 竪樋:VP ϕ 75
	改修 耐震CON壁:下地調整の上、複層塗材E塗り(トップ2回塗り) 耐震鉄部:下地調整の上、DP塗装(トップ2回塗り)		改修 撤去の上 カラーVP ϕ 75取付(SUS括み金物共)
(D)	既存 外壁石縫含有部 アクリルリシン吹付 外壁:水洗い、劣化改修、下地調整(C-2)の上、複層塗材Eローラー塗り 軒裏:水洗い、劣化改修、下地調整(C-2)の上、外装薄塗材E吹付	(I)	既存 シート防水(溝部)
(E)	既存 鉄部:塗装仕上げ 改修 下地調整の上、耐候性塗料(DP)塗り	(J)	改修 撤去、下地調整の上 シート防水(S-F2) 既存 シート防水(平場) 改修 清掃、損傷・はくり・浮き部補修の上、シート防水(S-M2)



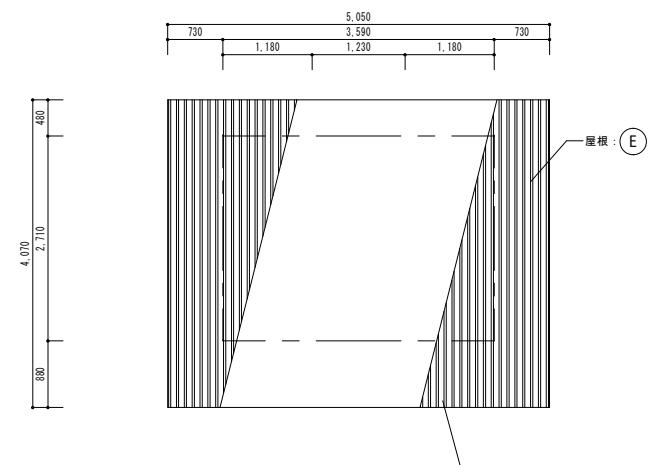
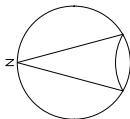
F工法詳細図 S=1/20

X1 100%

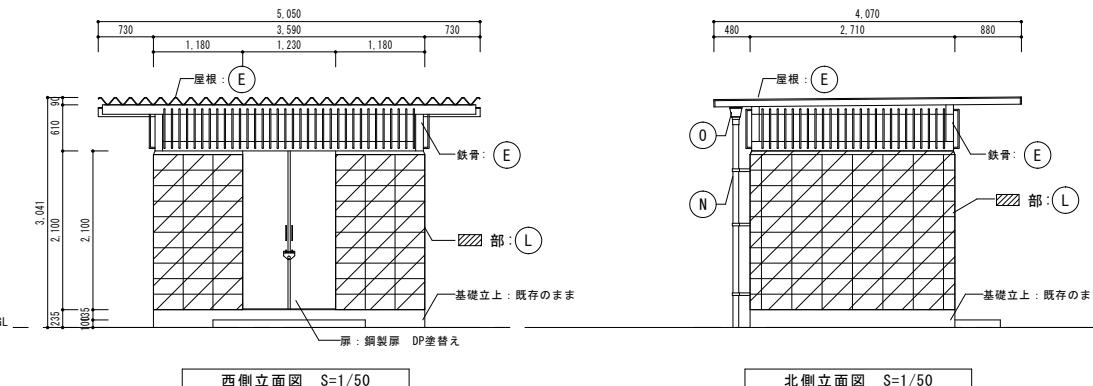
A3 50%



倉庫

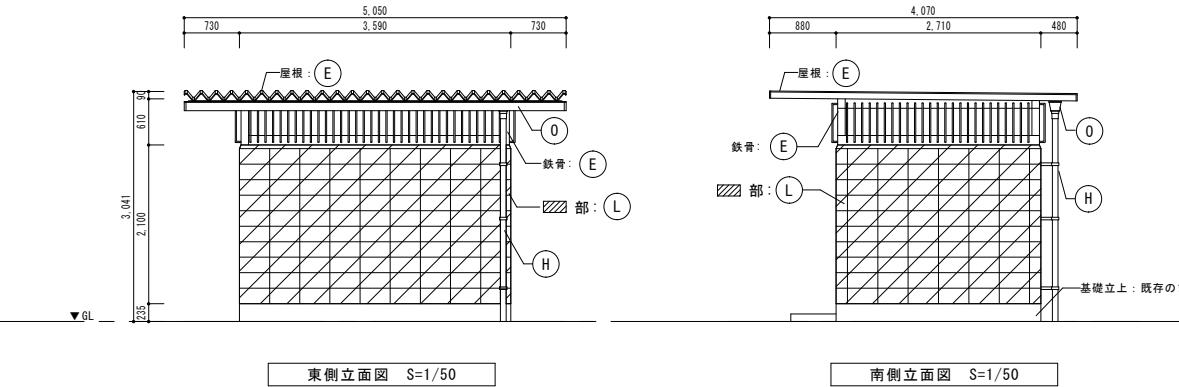


屋根伏図 S=1/50



西側立面図 S=1/50

北側立面図 S=1/50



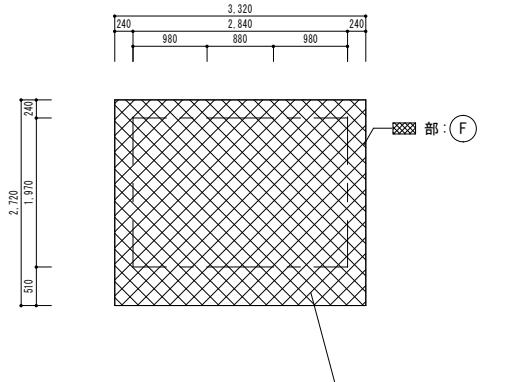
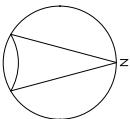
東側立面図 S=1/50

南側立面図 S=1/50

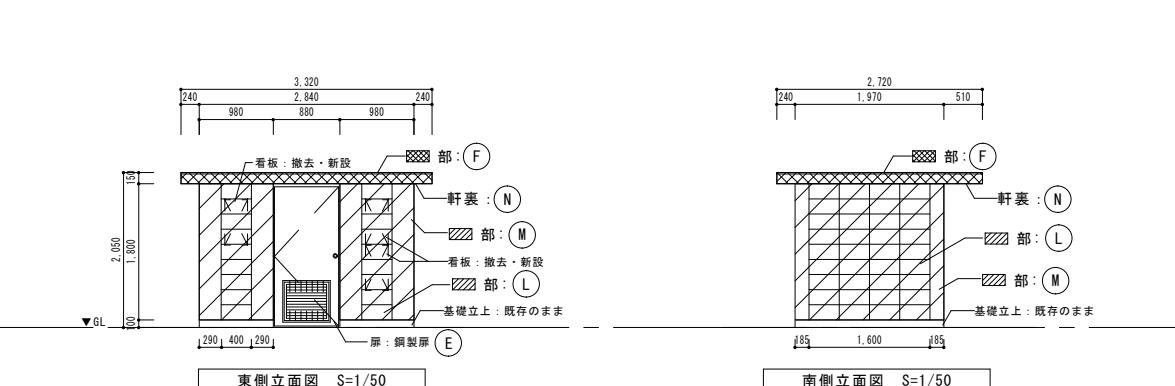
凡例

符号	仕上げ	符号	仕上げ	符号	仕上げ
(A)	既存 外壁: モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付	(F)	既存 防水めっき塗り	(L)	既存 外壁: コンクリートブロック
	改修 水洗い、劣化改修、下地調整の上 複層塗材Eローラー塗り		改修 水洗い、下地調整の上 ウレタンゴム系塗膜防水(X-Z)		改修 水洗い、劣化改修、下地調整の上 複層塗材Eローラー塗り
(B)	既存 斎裏: コンクリート打放し アクリルリシン吹付	(G)	既存 壁木: モルタル金コテ押え	(M)	既存 斎裏: コンクリート打放し
	改修 水洗い、劣化改修、下地調整の上 外装薄塗材E吹付		改修 既存のまま		改修 水洗い、劣化改修、下地調整の上 複層塗材Eローラー塗り
(C)	既存 耐震CON壁: 外装薄塗材E吹付	(H)	既存 壁木: VPφ75	(N)	既存 斎裏: コンクリート打放し
	改修 耐震CON壁: 干地調査の上、複層塗材E塗り(トップ2回塗り) 耐震鉄部: 下地調整の上、DP塗装(トップ2回塗り)		改修 撥去の上 カラーVPφ75取付(SUS掘み金物共)		改修 水洗い、劣化改修、下地調整の上 外装薄塗材E吹付
(D)	既存 外壁: 水洗い、劣化改修、下地調整(C-2)の上、複層塗材Eローラー塗り 斎裏: 水洗い、劣化改修、下地調整(C-2)の上、外装薄塗材E吹付	(I)	既存 シート防水(溝部)	(O)	既存 斎裏: VP
	改修 斎裏: 水洗い、劣化改修、下地調整の上、複層塗材Eローラー塗り 耐候性塗料: 下地調整の上、外装薄塗材E吹付		改修 撥去、下地調整の上 シート防水(S-F2)		改修 SOP塗替え
(E)	既存 鉄部: 塗装仕上げ	(J)	既存 小口平タイル(108×50)		
	改修 下地調整の上、耐候性塗料(DP)塗り		改修 既存タイル浮き部改修 アンカービニング部分エボキシ樹脂注入		

危険貯蔵庫

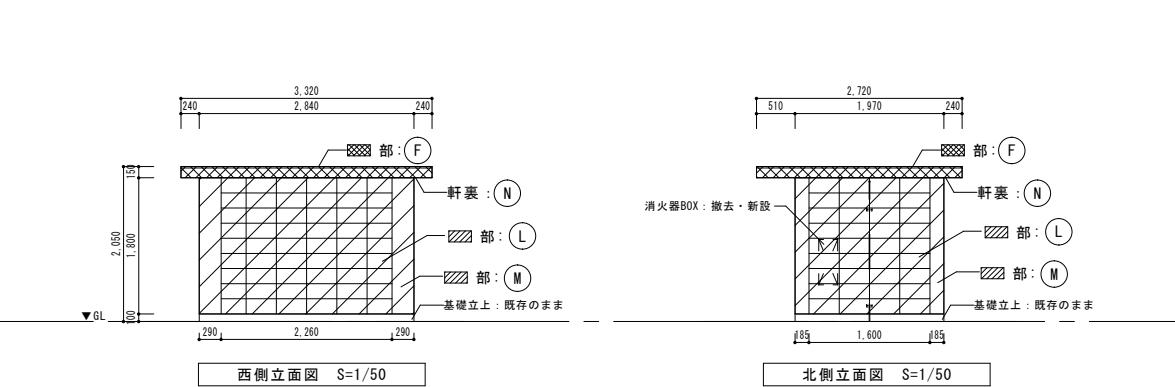


屋根伏図 S=1/50



東側立面図 S=1/50

南側立面図 S=1/50



西側立面図 S=1/50

北側立面図 S=1/50

共通事項

外装薄塗材E: 水洗い(15MPa程度)、劣化部改修・下地調整(C-1)
複層塗材Eローラー塗り: 水洗い(15MPa程度)、劣化部改修・下地調整(C-1)
外部建具: 変成シリコン系シーリング(MS-2)打替
外部配管・配線・ウェザーカバー・電気ボックス・銅製建具・その他監督員が指示する物: DP塗装

A1: 100%

A2: 50%

図面No.

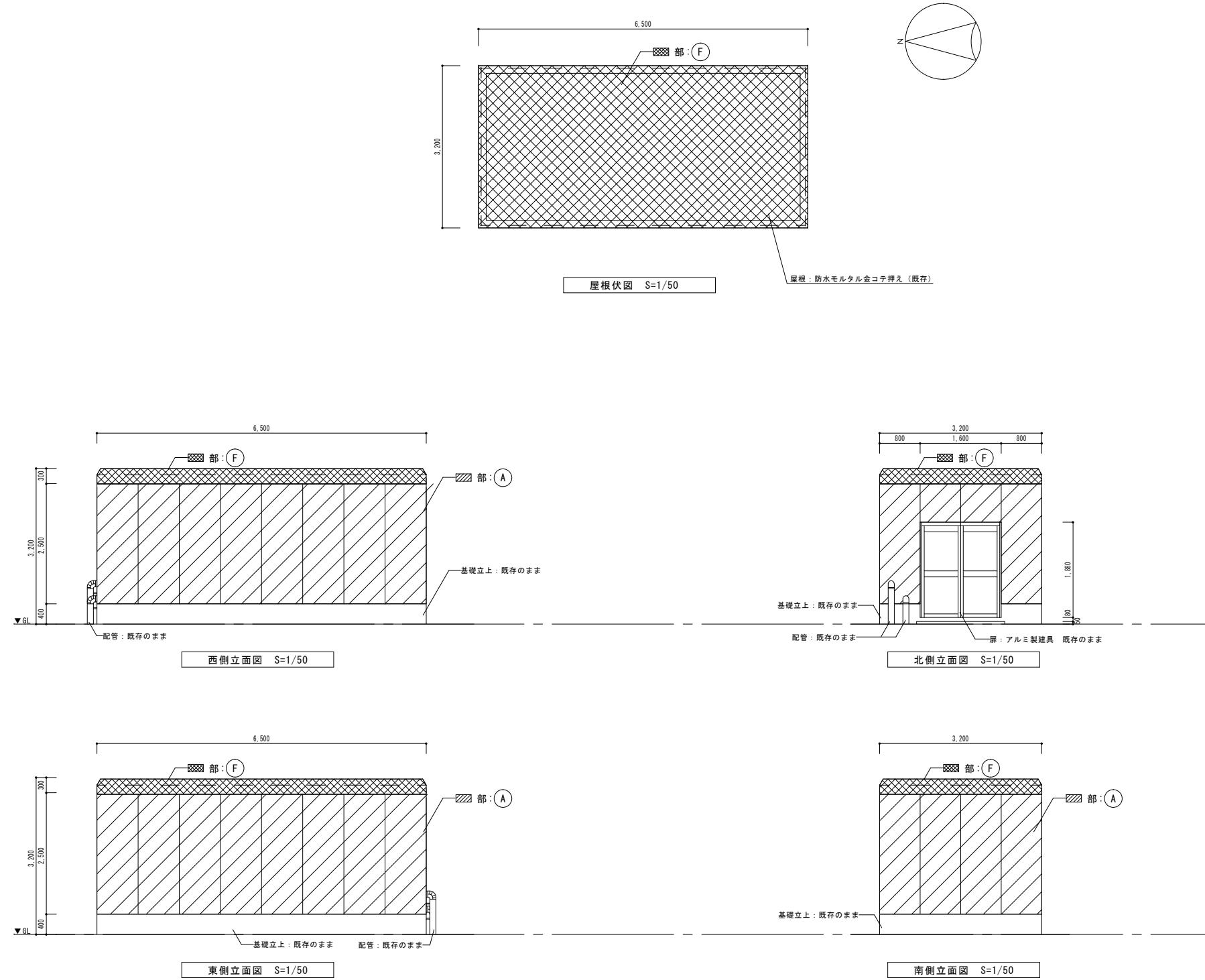
12

13

符号	仕上げ	符号	仕上げ	符号	仕上げ
(A)	既存 外壁: モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付	(F)	既存 防水めっき塗り	(L)	既存 外壁: コンクリートブロック
改修	水洗い、劣化改修、下地調整の上 複層塗材Eローラー塗り	改修	水洗い、下地調整の上 ウレタンゴム系塗膜防水(X-Z)	改修	水洗い、劣化改修、下地調整の上 複層塗材Eローラー塗り
(B)	既存 斎裏: コンクリート打放し アクリルリシン吹付	(G)	既存 壁木: モルタル金コテ押え	(M)	既存 斎裏: コンクリート打放し
改修	水洗い、劣化改修、下地調整の上 外装薄塗材E吹付	改修	既存のまま	改修	水洗い、劣化改修、下地調整の上 複層塗材Eローラー塗り
(C)	既存 耐震CON壁: 外装薄塗材E吹付	(H)	既存 壁木: VPφ75	(N)	既存 斎裏: コンクリート打放し
改修	耐震CON壁: 干地調査の上、複層塗材E塗り(トップ2回塗り) 耐震鉄部: 下地調整の上、DP塗装(トップ2回塗り)	改修	撥去の上 カラーVPφ75取付(SUS掘み金物共)	改修	水洗い、劣化改修、下地調整の上 外装薄塗材E吹付
(D)	既存 外壁: 水洗い、劣化改修、下地調整(C-2)の上、複層塗材Eローラー塗り 斎裏: 水洗い、劣化改修、下地調整(C-2)の上、外装薄塗材E吹付	(I)	既存 シート防水(溝部)	(O)	既存 斎裏: VP
改修	斎裏: 水洗い、劣化改修、下地調整の上 シート防水(S-F2)	改修	撥去、下地調整の上 シート防水(S-F2)	改修	SOP塗替え
(E)	既存 鉄部: 塗装仕上げ	(J)	既存 小口平タイル(108×50)		
改修	下地調整の上、耐候性塗料(DP)塗り	改修	既存タイル浮き部改修 アンカービニング部分エボキシ樹脂注入		

工事名	福山市立東小学校南棟校舎外壁塗装改修工事	図面名	倉庫、危険貯蔵庫
設計	2025年 4月	縮尺	S=1/50

受水槽ポンプ室



凡例

符号	仕上げ	符号	仕上げ	符号	仕上げ
(A)	既存 外壁: モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付	(F)	既存 防水モルタル塗り	(L)	既存 外壁: コンクリートブロック
	改修 水洗い、劣化改修、下地調整の上 複層塗材Eローラー塗り		改修 水洗い、下地調整の上 ウレタンゴム系塗膜防水(X-X)		改修 水洗い、劣化改修、下地調整の上 複層塗材Eローラー塗り
(B)	既存 施工: コンクリート打放し アクリルリシン吹付	(G)	既存 市木: モルタル金コテ押え	(M)	既存 外壁: コンクリート打放し
	改修 水洗い、劣化改修、下地調整の上 外装薄塗材E吹付		改修 既存のまま		改修 水洗い、劣化改修、下地調整の上 複層塗材Eローラー塗り
(C)	既存 施工: コンクリート打放し	(H)	既存 緊縛: VPφ100	(N)	既存 施工: コンクリート打放し
	改修 耐震CON壁: 外装薄塗材E吹付		改修 緊縛: VPφ100 取付 (SUS留み金物共)		改修 水洗い、劣化改修、下地調整の上 外装薄塗材E吹付
(D)	既存 施工: コンクリート打放し	(I)	既存 シート防水 (溝部)	(O)	既存 施工: VP
	改修 外壁: 水洗い、劣化改修、下地調整(C-2)の上、複層塗材Eローラー塗り		改修 振去、下地調整の上 シート防水 (S-F2)		改修 SOP塗替え
(E)	既存 施工: コンクリート打放し	(J)	既存 シート防水 (平場)		
	改修 外壁: 水洗い、劣化改修、下地調整(C-2)の上、外装薄塗材E吹付		改修 振去、はくり・浮き部補修の上、シート防水 (S-M2)		
	既存 鉄部: 塗装仕上げ	(K)	既存 小口平タイル (108×50)		
	改修 下地調整の上、耐候性塗料(DP)塗り		改修 既存タイル浮き部改修 アンカービニング部分エボキシ樹脂注入		

共通事項

外装薄塗材E: 水洗い(15MPa程度)、劣化部改修・下地調整(C-1)
複層塗材Eローラー塗り: 水洗い(15MPa程度)、劣化部改修・下地調整(C-1)
外部建具: 变成シリコン系シーリング(MS-2)打替
外部配管・配線・ウェザーカバー・電気ボックス・鋼製建具・その他監督員が指示する物: DP塗装

A1: 100%

A2: 50%



福山市建設局建築部営繕課

設計 2025年 4月

工事名称
福山市立東小学校南棟校舎外壁塗装改修工事

図面名稱
受水槽ポンプ室

図面No

13/13

縮尺
S=1/50

参考数量書

§ 工事名称 福山市立東小学校南棟校舎外壁塗装改修工事

§ 工事場所 福山市東町三丁目 7番49号

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款1条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

設 計 書

工事名称 福山市立東小学校南棟校舎外壁塗装改修工事

工事場所 福山市東町三丁目 7番49号

外壁改修、塗装改修

対象建物 南棟校舎
鉄筋コンクリート造 2階建
延べ面積 1,055m²

渡り廊下
鉄骨造 平家建
延べ面積 41m²

倉庫
コンクリートブロック造 平家建
延べ面積 10m²

危険貯蔵庫
コンクリートブロック造 平家建
延べ面積 5m²

受水槽ポンプ室
鉄筋コンクリート造 平家建
延べ面積 18m²

工事種別内訳

2

直 接 工 事 費 種目別内訳

3

直 接 工 事 費 科目別内訳

4

直 接 工 事 費 科目別内訳

5

直 接 工 事 費 科目別内訳

6

直 接 工 事 費 科目別内訳

7

直 接 工 事 費 科目別内訳

8

直 接 工 事 費 中科目別内訳

9

直 接 工 事 費 中科目別内訳

10

直 接 工 事 費 中科目別内訳

11

直 接 工 事 費 中科目別内訳

12

直 接 工 事 費 中科目別内訳

13

直 接 工 事 費 細目別内訳

14

南棟校舎		仮設工事	直接仮設			
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 頤	備 考
養生(外壁改修)		218	m ²			
整理清掃後片付け (外壁改修)		218	m ²			
開口養生	割り増し	301	m ²			
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	121	m ²			
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	121	m ²			
くさび緊結式足場 (手すり先行方式)	W900 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 10m未満 150日	726	m ²			
くさび緊結式足場	150日 底部 プラケット 掛け手間, 運搬費, 維持管理費共	219	m			
安全手すり (手すり先行方式)	くさび緊結式足場用 掛け手間, 運搬費, 維持管理費共 150日	101	m			
外部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 150日 バルコニー部 棚足場 掛け手間, 運搬費, 維持管理費共	62.6	m ²			
移動足場 (ローリングタワー)	W=1.5m 1段 期間1ヶ月	1	台			
養生シート張り	防炎 I 類 掛け手間, 運搬費, 維持管理費共 150日	726	m ²			
金網式養生枠	掛け手間, 運搬費, 維持管理費共 150日	152	m ²			
出入口安全対策	コンバネ貼り養生(3方) W3600×H3600程度	6	か所			
防球ネット 撤去・復旧		1	式			
計						

直 接 工 事 費 細目別内訳

15

南棟校舎		外壁改修工事			外壁劣化改修工事	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 領	備 考
施工数量調査 (外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修	1,175	m ²			
A-1 打放し面表面劣化 処理		10.7	m ²			
A-2 モルタル面表面劣化処 理		39.9	m ²			
B-2 打放し面Uカットシール 材充填工法	1.0mm以上 挙動 有り	14.2	m			
B-6 モルタル面Uカットシール材 注入工法	1.0mm以上 挙動 有り	53	m			
C-1 クラック部打放し面 サビ・鉄筋処理		11.8	m			
C-2 クラック部モルタル面 サビ・鉄筋処理		43.9	m			
D-1 モルタル面はつり	0.25m ² 以上	2.8	m ²			
D-2 モルタル面アンカービ ンディング部分注入エボ キシ樹脂	0.25m ² 以下 一般部(16ヶ所/m ²)	57.6	m ²			
D-2 モルタル面アンカービ ンディング部分注入エボ キシ樹脂	0.25m ² 以下 指定部(25ヶ所/m ²)	11.8	m ²			
D-2 モルタル面アンカービ ンディング部分注入エボ キシ樹脂	0.25m ² 以下 狹幅部(5ヶ所/m)	41.9	m			
D-2' タイル面アンカ ビンディング部分注入 エボキシ樹脂	0.25m ² 以下 一般部(16ヶ所/m ²)	4.4	m ²			
D-2' タイル面アンカ ビンディング部分注入 エボキシ樹脂	0.25m ² 以下 指定部(25ヶ所/m ²)	0.9	m ²			
D-2' タイル面アンカ ビンディング部分注入 エボキシ樹脂	0.25m ² 以下 狹幅部(5ヶ所/m)	3.2	m ²			
E-2 打放し部欠損部処 理	樹脂モルタル	1	m ²			
E-3 モルタル面欠損部処理	樹脂モルタル	3.5	m ²			
F 外壁複合改修	ビネット工法	278	m ²			
アルミ水切り取付 (材工共)	アルミ製 L-30×15×2.0 ステンレスビス@450含む	116	m			
計						

直 接 工 事 費 細目別内訳

16

直 接 工 事 費 細目別内訳

17

直 接 工 事 費 細目別内訳

18

直 接 工 事 費 細目別内訳

19

直 接 工 事 費 細目別内訳

20

直 接 工 事 費 細目別内訳

21

直 接 工 事 費 細目別内訳

22

直 接 工 事 費 細目別内訳

23

直 接 工 事 費 細目別内訳

24

直 接 工 事 費 細目別内訳

25

直 接 工 事 費 細目別内訳

26

直 接 工 事 費 細目別内訳

27

直 接 工 事 費 細目別内訳

28

直 接 工 事 費 細目別内訳

29

直 接 工 事 費 細目別内訳

30

直 接 工 事 費 細目別内訳

31

直 接 工 事 費 細目別内訳

32

直 接 工 事 費 細目別内訳

33

直 接 工 事 費 細目別内訳

34

直 接 工 事 費 細目別内訳

35

直 接 工 事 費 細目別内訳

36

直 接 工 事 費 細目別内訳

37

直 接 工 事 費 細目別内訳

38

直 接 工 事 費 細目別内訳

39

直 接 工 事 費 細目別内訳

40

直 接 工 事 費 細目別内訳

41

直 接 工 事 費 細目別内訳

42

直 接 工 事 費 細目別内訳

43

直 接 工 事 費 細目別内訳

44

共通仮設費(積上) 明細

45